

## 第4章 都市計画対象道路事業実施区域及びその周囲の概況（地域特性）

「事業実施区域及びその周囲」（以下、「調査区域」といいます。）とは、環境要素に係る環境影響を受ける恐れがある地域と考えられる都市計画対象道路事業実施区域から概ね片側約 3km（環境項目の中で、地域特性の把握範囲が最も広い景観項目の範囲「道路環境影響評価の技術手法（平成 24 年度版）（平成 25 年 3 月、国土交通省国土技術政策総合研究所）」を参考に設定しました。）を含む図 4-1 の範囲とし、地域特性を把握する範囲としました。

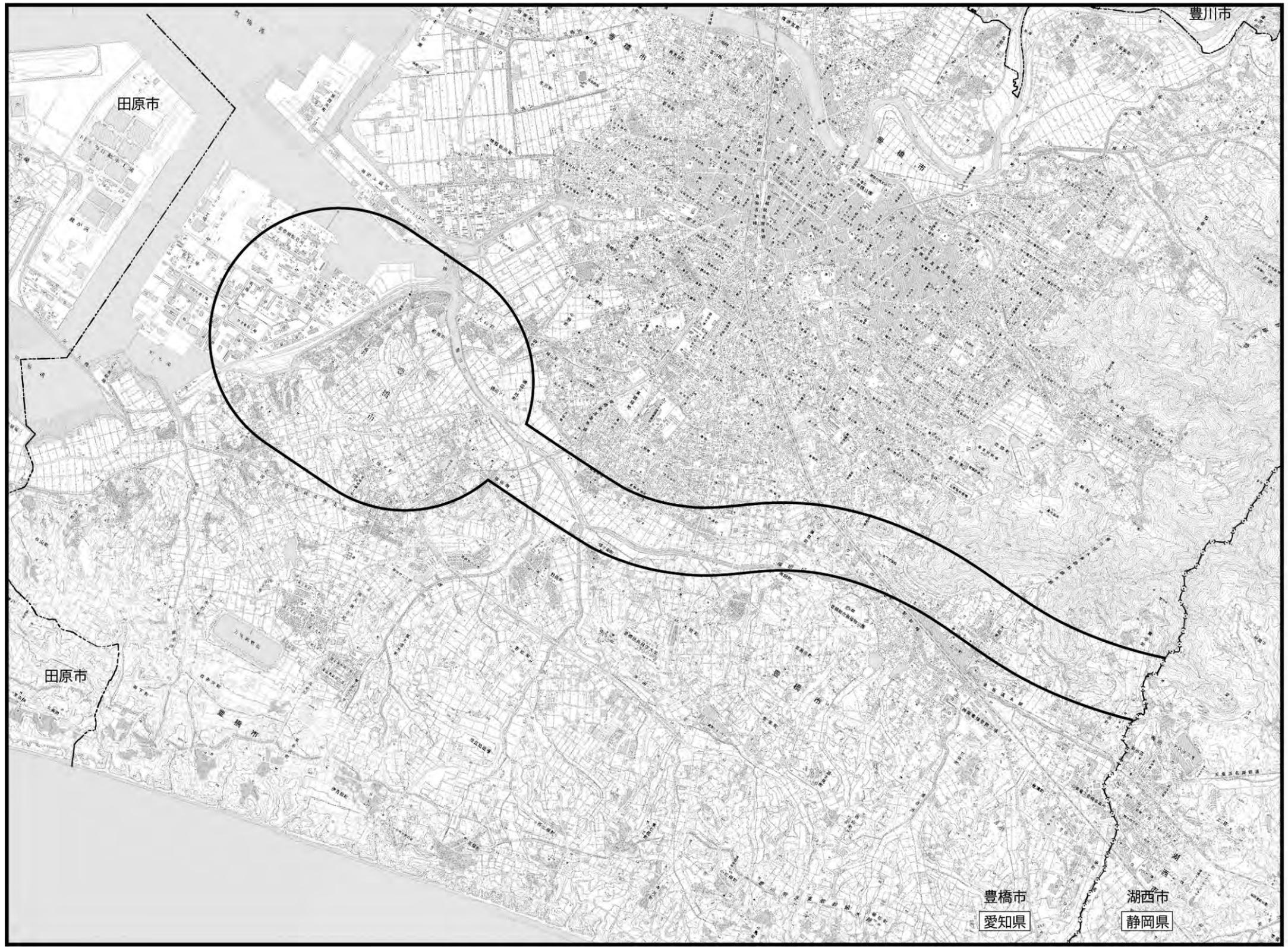
なお、統計資料等の行政単位による文献調査の場合は、「調査区域に含まれる愛知県豊橋市及び田原市」（以下、「調査区域内の市町」といいます。）で行いました。

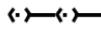
これらの調査区域内の市町は、表 4-1 に示すとおりです。

表 4-1 調査区域内の市町

県名	市町名
愛知県	豊橋市
	田原市
計	2 市

静岡県側の事業実施区域及びその周囲の状況については、静岡県区間の方法書を参照してください。



- 凡 例
-  : 都市計画対象道路  
事業実施区域
  -  : 県境
  -  : 市町村界

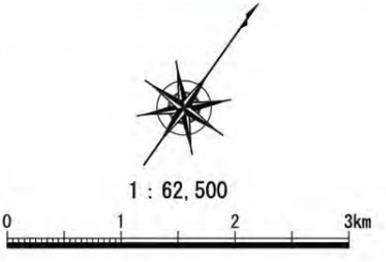
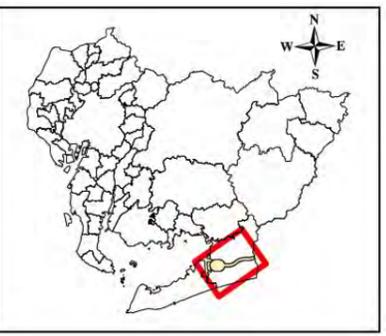


図 4-1 事業実施区域及びその周囲

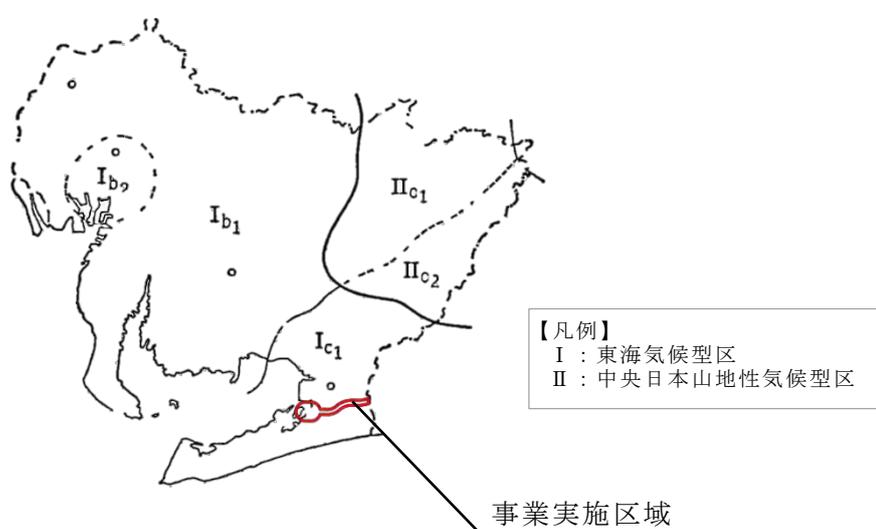
## 第1節 自然的状況

### 1.1. 気象、大気質、騒音、振動その他の大気に係る環境の状況

#### (1) 気象の状況

##### 1) 気象の概況

「日本地誌第12巻 岐阜県・愛知県」（昭和44年10月、日本地誌研究所）によると、調査区域は図4-1-1に示すとおり東海気候型区（I<sub>c1</sub>）に属するとされています。この東海気候型区は、冬季は温暖、夏季はかなり高温になります。海岸部は冬季に西よりの風が卓越します。



<事業実施区域の気候による地域区分>

I<sub>c1</sub>：冬の西風と温暖、梅雨時の豪雨などが特色である。

出典：日本地誌第12巻 岐阜県・愛知県（昭和44年、日本地誌研究所）

図 4-1-1 愛知県の気候区分

## 2) 気象の状況

調査区域では、愛知県に位置する豊橋地域気象観測所（豊橋市）において、平均気温、降水量、日照時間、風向・風速等の気象観測が行われています。観測所の位置は図 4-1-3 に示すとおりです。なお、調査区域内の田原市に位置する気象観測所はありません。

豊橋地域気象観測所における過去 10 年間の気象の概況は表 4-1-1(1)に、過去 10 年間の月別気象概況は表 4-1-1(2)及び図 4-1-2 に示すとおりです。

豊橋地域気象観測所の年間の平均気温は 15.8～16.9℃、総降水量は 1,391.5～2,242.0mm、日照時間は 2,201.2～2,502.0 時間、平均風速は 3.5～3.9m/s、最多風向は北西となっています。

また、気温は 6～9 月、降水量は 7 月と 9～10 月、平均風速は 12～4 月、日照時間は 5 月と 8 月に卓越する傾向があります。

表 4-1-1(1) 豊橋地域気象観測所における気象概況（平成 25 年～令和 4 年）

年	項目	平均気温 (℃)	総降水量 (mm)	日照時間 (h)	平均風速 (m/s)	最多風向
平成 25 年		16.1	1,391.5	2,502.0	3.9	北西
平成 26 年		15.8	1,514.0	2,358.6	3.8	北西
平成 27 年		16.3	1,808.5	2,201.2	3.6	北西
平成 28 年		16.8	1,756.0	2,293.9	3.6	北西
平成 29 年		15.8	1,483.0	2,372.7	3.7	北西
平成 30 年		16.7	1,686.0	2,414.6	3.7	北西
令和元年		16.8	1,652.5	2,282.1	3.7	北西
令和 2 年		16.9	1,928.5	2,331.6	3.5	北西
令和 3 年		16.7	2,242.0	2,271.8	3.6	北西
令和 4 年		16.6	1,596.0	2,307.2	3.6	北西
	平均	16.4	1,705.8	2,333.6	3.7	北西

出典：気象統計情報（気象庁ホームページ）

表 4-1-1(2) 月別気象概況（豊橋地域気象観測所：平成 25 年～令和 4 年）

項目 月	気温 (℃)			降水量 (mm)		風向・風速 (m/s)		日照時間 (h)
	平均	最高	最低	合計	日最大	最多風向	平均風速	
1 月	5.5	14.1	-2.2	55.3	39.5	北西	4.5	200.0
2 月	6.2	16.9	-1.6	59.1	41.5	北西	4.6	187.8
3 月	10.3	20.4	0.3	143.7	101.5	北西	4.3	213.3
4 月	14.8	23.9	4.5	152.9	74.5	西南西	4.2	211.1
5 月	19.3	28.5	9.8	166.0	119.5	南	3.6	231.8
6 月	22.4	30.2	15.6	152.6	132.5	南	3.2	174.7
7 月	26.2	33.7	20.2	227.3	135.5	南南東	2.9	193.3
8 月	27.6	34.8	20.8	163.9	181.5	南	3.2	223.0
9 月	24.3	32.5	16.0	241.8	120.0	東	3.1	163.3
10 月	19.2	28.9	9.0	220.1	207.5	南南西	3.1	164.7
11 月	13.6	22.5	3.5	67.4	39.0	北西	3.3	181.2
12 月	8.0	18.2	-0.6	56.0	42.0	北西	4.2	189.5

注1) 気温は月最高気温、月最低気温の10年間平均値を示す。

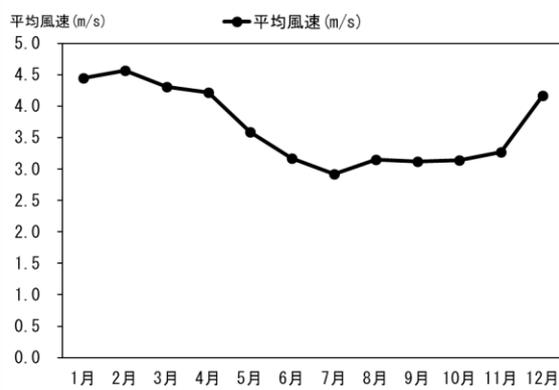
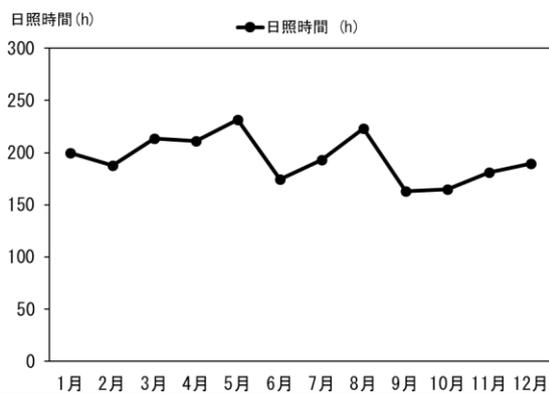
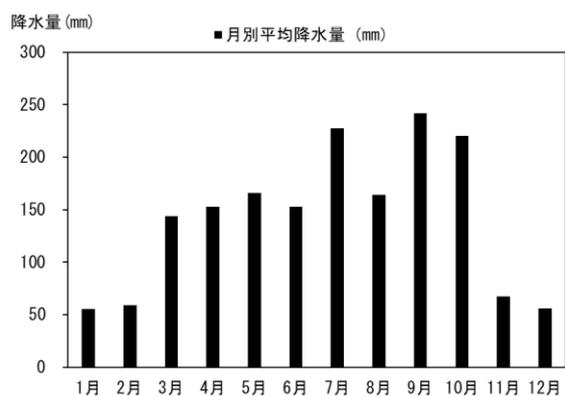
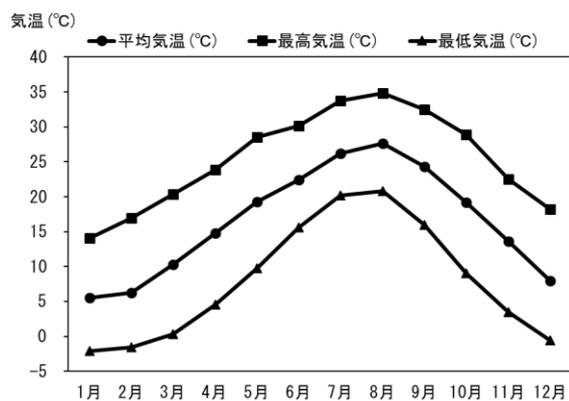
注2) 降水量は月合計降水量の10年間平均値を示す。

注3) 最多風向は10年間における当該月の最多となる風向を示す。

注4) 平均風速は月平均風速の10年間平均値を示す。

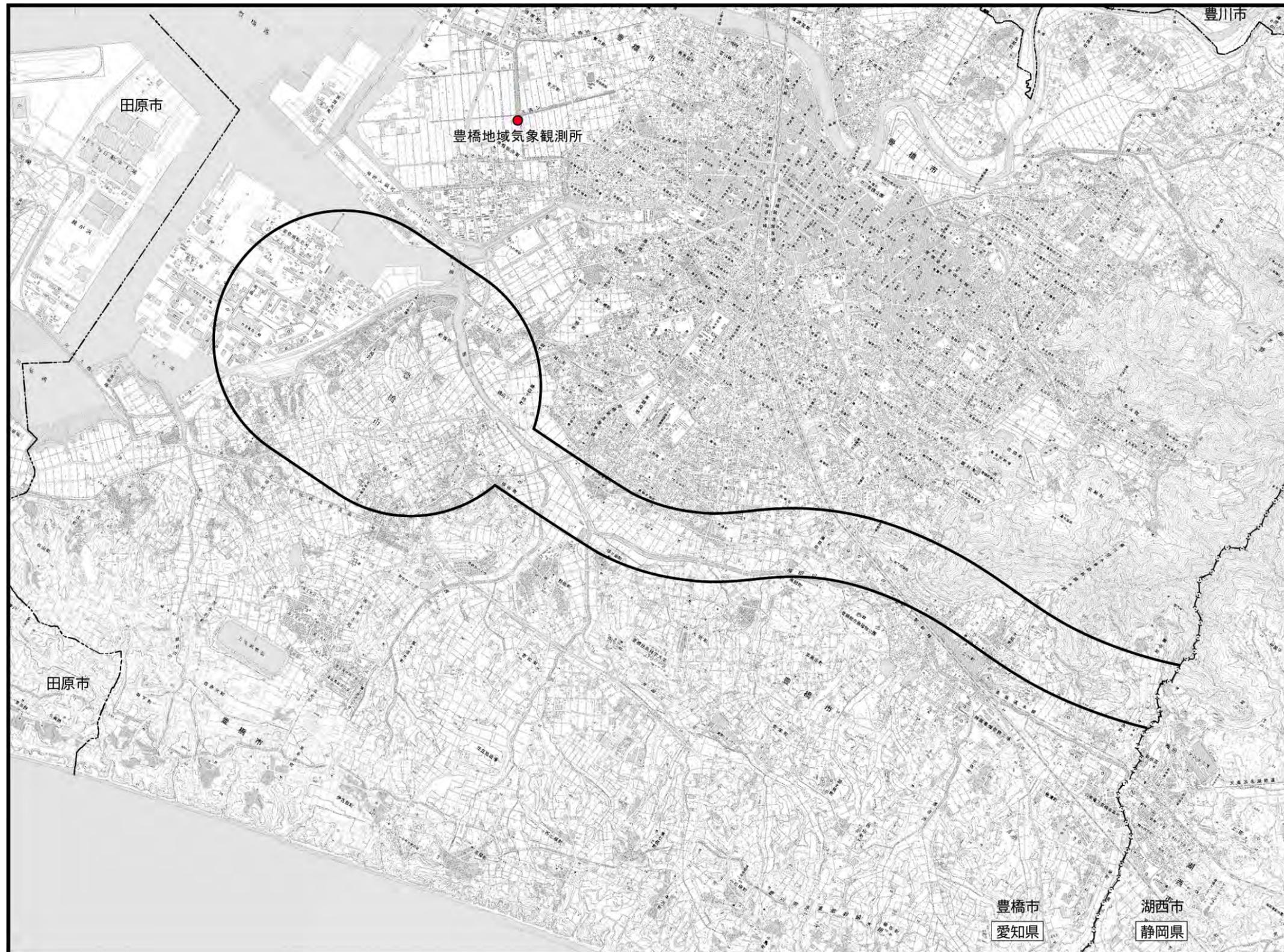
注5) 日照時間は月合計時間の10年間平均値を示す。

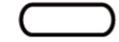
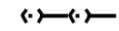
出典：気象統計情報（気象庁ホームページ）

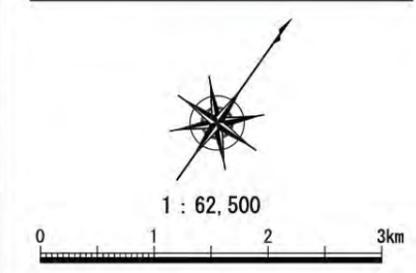
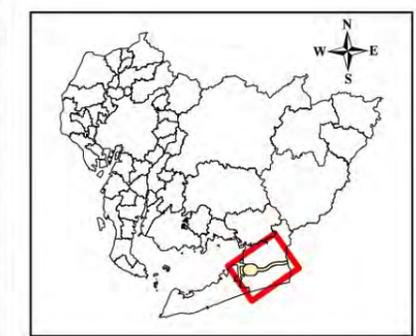


出典：気象統計情報（気象庁ホームページ）

図 4-1-2 豊橋地域気象観測所における気象概況（平成 25 年～令和 4 年）



- 凡 例
-  : 都市計画対象道路  
事業実施区域
  -  : 県境
  -  : 市町村界
  -  : 気象観測所



出典：地域気象観測所一覧（気象庁ホームページ）

図 4-1-3 気象観測所位置図

## (2) 大気質の状況

### 1) 測定局の状況

調査区域に位置する令和4年度の大気汚染常時監視測定局及び測定項目は、表4-1-2及び図4-1-4に示すとおりです。調査区域内の田原市に位置する測定局はありません。一般環境大気測定局（一般局）は5局、自動車排出ガス測定局は1局存在します。

表4-1-2 一般局・自排局の測定項目（令和4年度）

No.	測定局等	所在地	測定項目							採取口の 高さ	管理主体	種別	
			二酸化硫黄	二酸化窒素	浮遊粒子状物質	光化学オキシダント	一酸化炭素	微小粒子状物質	有害大気汚染物質				ダイオキシン類
1	石巻	石巻町西浦16 (石巻校区市民館2階)		○		○					9m	豊橋市	一般局
2	吾妻	吾妻町84-1 (吾妻公園内)											
3	二川	豊橋市大岩町字東郷内111-1 (二川地区市民館1階)		○	○	○		○	○	3~4m			
4	野依	豊橋市野依町字諏訪149-1 (野依校区市民館1階)		○	○	○		○		3m			
5	大崎	豊橋市大崎町字柿ノ木16 (大崎校区市民館2階)	○	○	○	○		○	○	○	3~9m		
6	今橋	豊橋市今橋町1 (豊橋市役所車庫棟3階)	○	○	○	○	○	○	○	○	16~23m		自排局

注1) 地点番号は図4-1-4に対応する。

注2) 「○」は当該測定局において当該項目の測定を行っていることを示す。

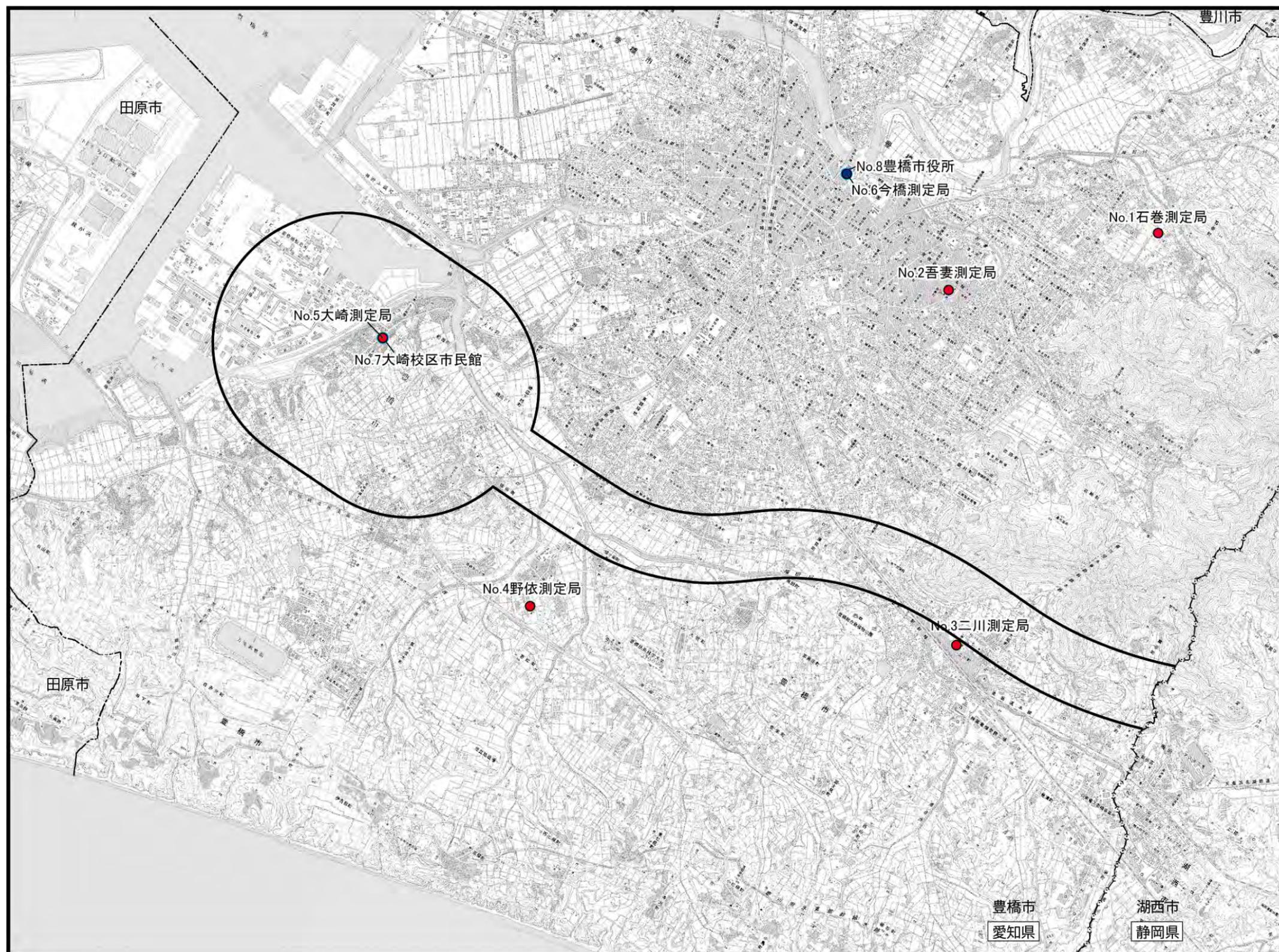
注3) No. 2吾妻については、令和3年度で測定局が廃止されている。

出典：「令和4年度大気環境及び水環境調査結果」（豊橋市 環境部 環境保全課）

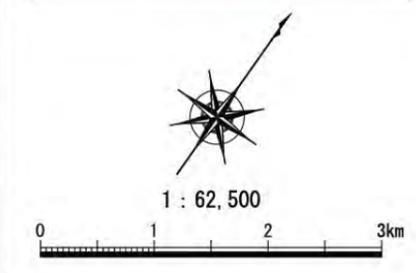
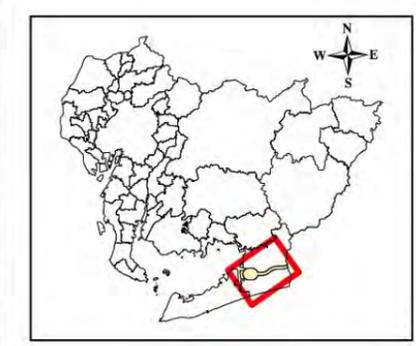
「2022年度大気汚染調査結果」（令和5年6月、愛知県）

「2022年度のダイオキシン類に係る環境調査結果について」（愛知県ホームページ）

「愛知県大気環境情報」（愛知県ホームページ）



- 凡 例
- : 都市計画対象道路事業実施区域
  - : 県境
  - : 市町村界
  - : 一般環境大気測定局
  - : 自動車排出ガス測定局
  - : ダイオキシン類調査地点



出典：「令和4年度大気環境及び水環境調査結果」（豊橋市 環境部 環境保全課）  
 「令和3年度大気環境及び水環境調査結果」（豊橋市 環境部 環境保全課）  
 「2022年度におけるダイオキシン類の環境調査及び事業者による測定の結果について」（愛知県ホームページ）

図 4-1-4 大気質測定箇所

## 2) 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>)

令和4年度の測定結果は表4-1-3に、過去5年間（平成30年度～令和4年度）の経年変化は表4-1-4及び図4-1-5に示すとおりです。

令和4年度において1時間値が0.1ppmを超過した時間はなく、また1日平均値の年間2%除外値は0.001ppm～0.003ppmとなっており、環境基準を達成しています。

過去5年間の1日平均値の年間2%除外値は、減少傾向にあります。

表4-1-3 二酸化硫黄の測定結果（令和4年度）

No.	種別	測定局	有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値が0.1ppmを超過した時間数	1日平均値が0.04ppmを超過した日数	1日平均値の年間2%除外値	1日平均値が0.04ppmを超過した日が2日以上連続したことの有無	環境基準との比較（長期的）
						時間	日	ppm	ppm	達成・非達成
5	一般局	大崎	359	8,626	0.001	0	0	0.003	無	○
6	自排局	今橋	355	8,521	0.001	0	0	0.001	無	○

注1) 地点番号は図4-1-4に対応する。

注2) 環境基準は、1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。

注3) 環境基準との比較は、以下に示す長期的評価による。（○：達成 ×：非達成）

1時間値が0.1ppm以下、年間にわたる1日平均値の高い方から2%の範囲内にあるものを除外した値が0.04ppm以下であること。ただし、1日平均値が0.04ppmを超過した日が2日以上連続しないこと。

出典：「2022年度大気汚染調査結果」（令和5年6月、愛知県）

表4-1-4 二酸化硫黄の経年変化（1日平均値の年間2%除外値）

単位：ppm

No.	種別	測定局名	年 度				
			平成30年度	令和元年度 (平成31年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1	一般局	石巻	0.002	0.002	0.001	0.001	—
5		大崎	0.004	0.003	0.003	0.003	0.003
6	自排局	今橋	0.003	0.002	0.001	0.001	0.001

注1) 地点番号は図4-1-4に対応する。

注2) 石巻測定局は、令和4年度は二酸化硫黄の測定機器を廃止している。

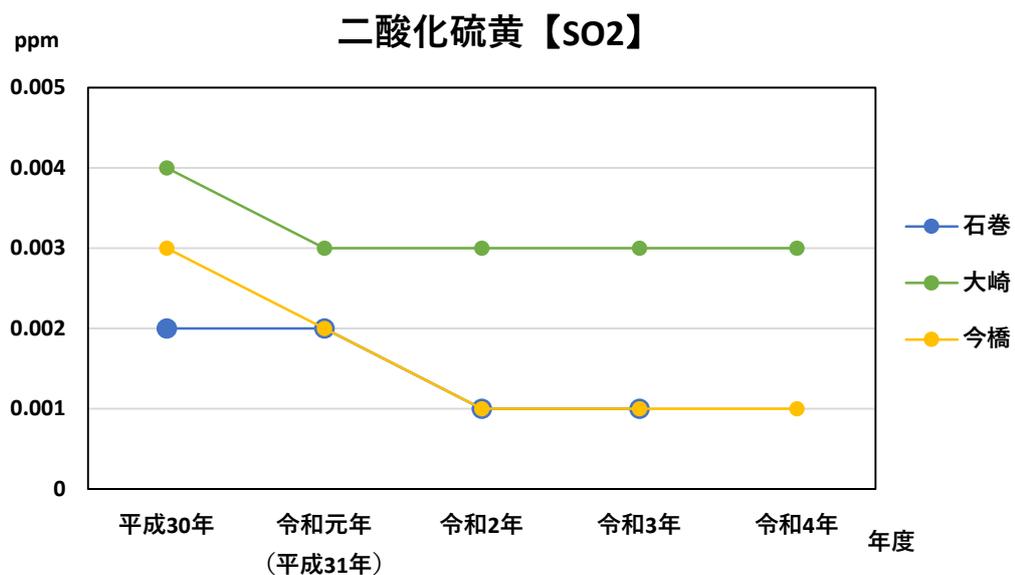
出典：「2022年度大気汚染調査結果」（令和5年6月、愛知県）

「2021年度大気汚染調査結果」（令和4年6月、愛知県）

「2020年度大気汚染調査結果」（令和3年6月、愛知県）

「2019年度大気汚染調査結果」（令和2年6月、愛知県）

「平成30年度大気汚染調査結果」（令和元年6月、愛知県）



出典：「2022年度大気汚染調査結果」（令和5年6月、愛知県）  
「2021年度大気汚染調査結果」（令和4年6月、愛知県）  
「2020年度大気汚染調査結果」（令和3年6月、愛知県）  
「2019年度大気汚染調査結果」（令和2年6月、愛知県）  
「平成30年度大気汚染調査結果」（令和元年6月、愛知県）

図 4-1-5 二酸化硫黄の経年変化（1日平均値の年間2%除外値）

### 3) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>)

令和4年度の測定結果は表4-1-5に、過去5年間（平成30年度～令和4年度）の経年変化は表4-1-6及び図4-1-6に示すとおりです。

令和4年度における1日平均値の年間98%値は0.009ppm～0.021ppmとなっており、すべての地点で環境基準を達成しています。過去5年間の1日平均値の年間98%値は、概ね横ばい傾向にあります。

表4-1-5 二酸化窒素の測定結果（令和4年度）

No.	種別	測定局	有効測定日数	測定時間	年平均値	日平均値が0.06ppmを超えた日数	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数	1時間値の最高値	1日平均値の年間98%値	環境基準との比較
			日	時間	ppm	日	日	ppm	ppm	達成・非達成
1	一般局	石巻	362	8,639	0.004	0	0	0.032	0.011	○
3		二川	166	3,994	0.004	0	0	0.023	0.009	—
4		野依	361	8,631	0.007	0	0	0.045	0.018	○
5		大崎	345	8,287	0.009	0	0	0.057	0.021	○
6	自排局	今橋	161	3,886	0.007	0	0	0.045	0.018	—

注1) 地点番号は図4-1-4に対応する。

注2) 環境基準との比較は、以下に示す長期的評価による。(○：達成 ×：非達成)

年間における1時間値の1日平均値の年間98%値が0.04ppm～0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。

注3) 二川測定局及び今橋測定局は令和4年度の年間測定時間が6,000時間に達していないため、データは参考値であることから、環境基準との比較は行っていない。

出典：「2022年度大気汚染調査結果」（令和5年6月、愛知県）

表4-1-6 二酸化窒素の経年変化（1日平均値の年間98%値）

単位：ppm

No.	種別	測定局名	年 度				
			平成30年度	令和元年度 (平成31年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1	一般局	石巻	0.014	0.011	0.011	0.011	0.011
3		二川	0.017	0.017	0.016	0.016	0.009
4		野依	0.022	0.021	0.019	0.019	0.018
5		大崎	0.026	0.025	0.023	0.024	0.021
6	自排局	今橋	0.020	0.019	0.017	0.016	0.018

注1) 地点番号は図4-1-4に対応する。

注2) 二川測定局及び今橋測定局は令和4年度の年間測定時間が6,000時間に達していないため、データは参考値である。

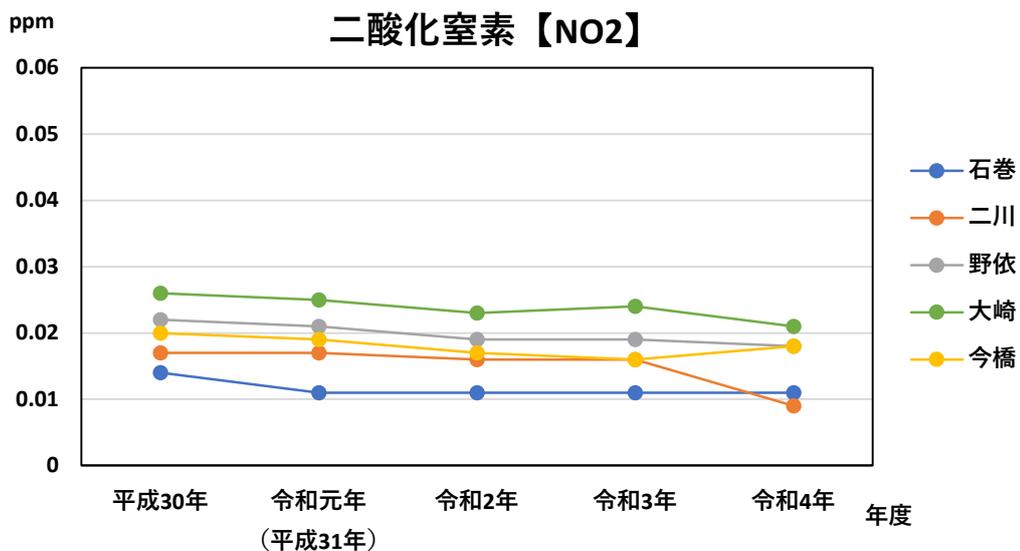
出典：「2022年度大気汚染調査結果」（令和5年6月、愛知県）

「2021年度大気汚染調査結果」（令和4年6月、愛知県）

「2020年度大気汚染調査結果」（令和3年6月、愛知県）

「2019年度大気汚染調査結果」（令和2年6月、愛知県）

「平成30年度大気汚染調査結果」（令和元年6月、愛知県）



出典：「2022年度大気汚染調査結果」（令和5年6月、愛知県）  
「2021年度大気汚染調査結果」（令和4年6月、愛知県）  
「2020年度大気汚染調査結果」（令和3年6月、愛知県）  
「2019年度大気汚染調査結果」（令和2年6月、愛知県）  
「平成30年度大気汚染調査結果」（令和元年6月、愛知県）

図 4-1-6 二酸化窒素の経年変化（1日平均値の年間98%値）

#### 4) 浮遊粒子状物質 (SPM)

令和4年度の測定結果は表4-1-7に、過去5年間（平成30年度～令和4年度）の経年変化は表4-1-8及び図4-1-7に示すとおりです。

令和4年度において1時間値が0.20mg/m<sup>3</sup>を超過した時間はなく、また1日平均値の年間2%除外値は0.024mg/m<sup>3</sup>～0.033mg/m<sup>3</sup>となっており、すべての地点で環境基準を達成しています。過去5年間の1日平均値の年間2%除外値は、概ね減少傾向にあります。

表4-1-7 浮遊粒子状物質の測定結果（令和4年度）

No.	種別	測定局	有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数	1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数	環境基準との比較(短期的)	1日平均値の年間2%除外値	1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日が2日以上連続したことの有無	環境基準との比較(長期的)
			日	時間	mg/m <sup>3</sup>	時間	日	達成・非達成	mg/m <sup>3</sup>	達成・非達成	
3	一般局	二川	171	4,120	0.015	0	0	○	0.033	—	—
4		野依	361	8,688	0.012	0	0	○	0.029	無	○
5		大崎	362	8,711	0.013	0	0	○	0.031	無	○
6	自排局	今橋	359	8,665	0.011	0	0	○	0.024	無	○

注1) 地点番号は図4-1-4に対応する。

注2) 環境基準との比較は、以下に示す評価による。(○：達成 ×：非達成)

短期的評価：連続して又は随時行った1時間値が0.20mg/m<sup>3</sup>以下であること。かつ、1時間値の1日平均値が0.10mg/m<sup>3</sup>以下であること。

長期的評価：1年間の測定を通じて得られた1日平均値のうち、2%除外値が0.10mg/m<sup>3</sup>以下であること。かつ、1日平均値が0.10mg/m<sup>3</sup>を超える日が2日以上連続しないこと。

注3) 二川測定局は令和4年度の年間測定時間が6,000時間に達していないため、データは参考値であることから、環境基準との比較は行っていない。

出典：「2022年度大気汚染調査結果」（令和5年6月、愛知県）

表4-1-8 浮遊粒子状物質の経年変化（1日平均値の年間2%除外値）

単位：mg/m<sup>3</sup>

No.	種別	測定局名	年 度				
			平成30年度	令和元年度(平成31年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1	一般局	石巻	0.046	0.037	0.032	0.025	—
2		吾妻	0.046	0.043	0.039	0.024	—
3		二川	0.061	0.054	0.042	0.032	0.033
4		野依	0.065	0.057	0.041	0.036	0.029
5		大崎	0.039	0.052	0.039	0.032	0.031
6	自排局	今橋	0.050	0.040	0.029	0.025	0.024

注1) 地点番号は図4-1-4に対応する。

注2) 石巻測定局は、令和4年度に浮遊粒子状物質の測定機器を廃止している。また吾妻測定局は令和3年度で測定局が廃止されている。

注3) 二川測定局は令和4年度の年間測定時間が6,000時間に達していないため、データは参考値である。

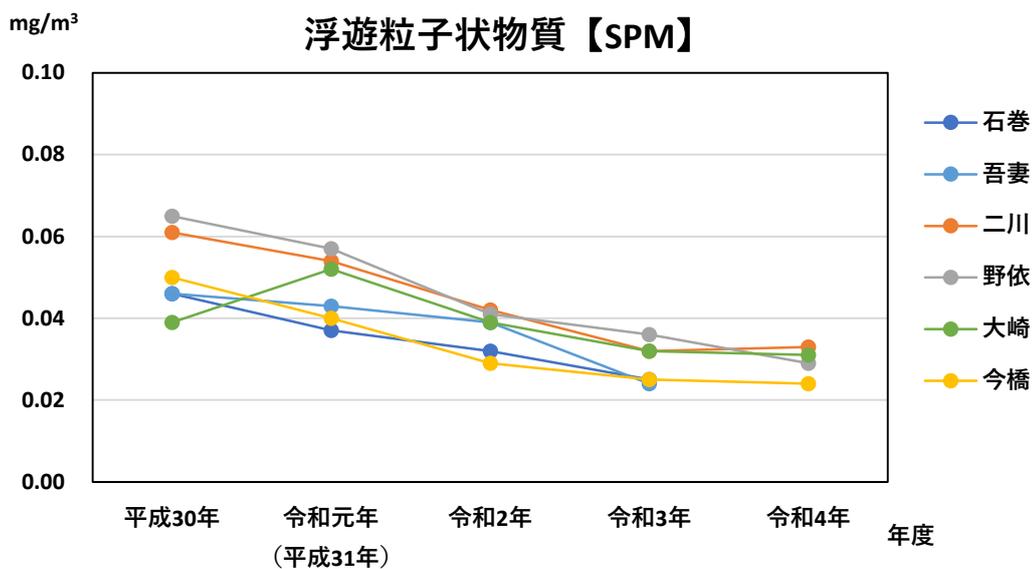
出典：「2022年度大気汚染調査結果」（令和5年6月、愛知県）

「2021年度大気汚染調査結果」（令和4年6月、愛知県）

「2020年度大気汚染調査結果」（令和3年6月、愛知県）

「2019年度大気汚染調査結果」（令和2年6月、愛知県）

「平成30年度大気汚染調査結果」（令和元年6月、愛知県）



出典：「2022年度大気汚染調査結果」（令和5年6月、愛知県）  
「2021年度大気汚染調査結果」（令和4年6月、愛知県）  
「2020年度大気汚染調査結果」（令和3年6月、愛知県）  
「2019年度大気汚染調査結果」（令和2年6月、愛知県）  
「平成30年度大気汚染調査結果」（令和元年6月、愛知県）

図 4-1-7 浮遊粒子状物質の経年変化（1日平均値の年間2%除外値）

## 5) 光化学オキシダント (O<sub>x</sub>)

令和4年度の測定結果は表4-1-9に、過去5年間（平成30年度～令和4年度）の経年変化は表4-1-10及び図4-1-8に示すとおりです。

令和4年度における昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数は51～85日であり、すべての地点で環境基準を達成していません。過去5年間の昼間の1時間値の最高値は、増減があるものの概ね横ばい傾向にあります。

表 4-1-9 光化学オキシダントの測定結果（令和4年度）

No.	種別	測定局	昼間測定日数	昼間測定時間	昼間年平均値	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた時間数	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数	環境基準との比較	昼間の1時間値が0.12ppm以上の時間数	昼間の1時間値が0.12ppm以上の日数	昼間の1時間値の最高値
			日	時間	ppm	時間	日	達成・非達成	時間	日	ppm
1	一般局	石巻	365	5,442	0.035	403	85	×	0	0	0.102
3		二川	365	5,446	0.037	334	64	×	0	0	0.096
4		野依	365	5,443	0.037	334	70	×	0	0	0.091
5		大崎	364	5,432	0.032	254	51	×	0	0	0.091
6	自排局	今橋	363	5,381	0.035	285	59	×	0	0	0.094

注1) 地点番号は図4-1-4に対応する。

注2) 環境基準は、1時間値が0.06ppm以下であること。

注3) 環境基準との比較は、以下に示す評価による。(○：達成 ×：非達成)

年間を通じて1時間値が0.06ppm以下であること。ただし、5時から20時の昼間時間帯について評価する。

出典：「2022年度大気汚染調査結果」（令和5年6月、愛知県）

表 4-1-10 光化学オキシダントの経年変化（昼間の1時間値の最高値）

単位：ppm

No.	種別	測定局名	年度				
			平成30年度	令和元年度 (平成31年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1	一般局	石巻	0.115	0.109	0.090	0.108	0.102
2		吾妻	0.117	0.137	—	—	—
3		二川	0.111	0.117	0.099	0.105	0.096
4		野依	0.105	0.116	0.096	0.101	0.091
5		大崎	—	—	0.091	0.103	0.091
6	自排局	今橋	—	0.116	0.084	0.100	0.094

注1) 地点番号は図4-1-4に対応する。

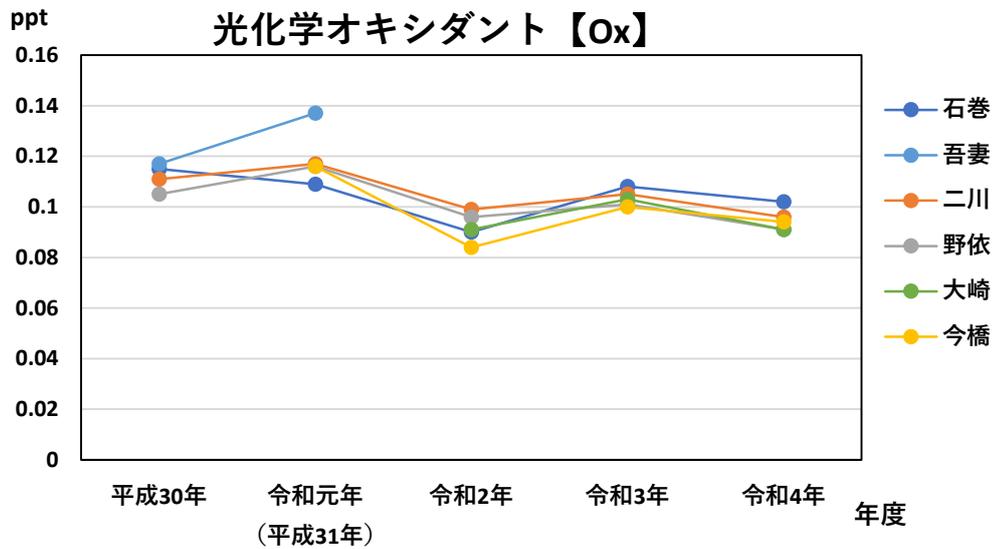
出典：「2022年度大気汚染調査結果」（令和5年6月、愛知県）

「2021年度大気汚染調査結果」（令和4年6月、愛知県）

「2020年度大気汚染調査結果」（令和3年6月、愛知県）

「2019年度大気汚染調査結果」（令和2年6月、愛知県）

「平成30年度大気汚染調査結果」（令和元年6月、愛知県）



出典：「2022年度大気汚染調査結果」（令和5年6月、愛知県）  
 「2021年度大気汚染調査結果」（令和4年6月、愛知県）  
 「2020年度大気汚染調査結果」（令和3年6月、愛知県）  
 「2019年度大気汚染調査結果」（令和2年6月、愛知県）  
 「平成30年度大気汚染調査結果」（令和元年6月、愛知県）

図 4-1-8 光化学オキシダントの経年変化（1 時間値の最高値）

## 6) 一酸化炭素 (CO)

令和4年度の測定結果は表4-1-11に、過去5年間(平成30年度～令和4年度)の経年変化は表4-1-12及び図4-1-9に示すとおりです。

令和4年度において8時間値が20ppmを超過した時間はなく、また1日平均値の年間2%除外値は0.3ppmとなっており、環境基準を達成しています。

過去5年間の1日平均値の年間2%除外値は、概ね横ばい傾向にあります。

表 4-1-11 一酸化炭素の測定結果(令和4年度)

No.	種別	測定局	有効測定日数	測定時間	年平均値	8時間値が20ppmを超過した回数	1日平均値が10ppmを超過した日数	1日平均値の年間2%除外値	1日平均値が10ppmを超過した日が2日以上連続したことの有無	環境基準との比較(長期的)
			日	時間	ppm	回	日	ppm	達成・非達成	
6	自排局	今橋	359	8,522	0.2	0	0	0.3	無	○

注1) 地点番号は図4-1-4に対応する。

注2) 環境基準は、1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、8時間値が20ppm以下であること。

注3) 環境基準との比較は、以下に示す長期的評価による。(○:達成 ×:非達成)

8時間値が20ppm以下、年間にわたる1日平均値の高い方から2%の範囲内にあるものを除外した値が10ppm以下であること。ただし、1日平均値が10ppmを超過した日が2日以上連続しないこと。

出典:「2022年度大気汚染調査結果」(令和5年6月、愛知県)

表 4-1-12 一酸化炭素の経年変化(1日平均値の年間2%除外値)

単位: ppm

No.	種別	測定局名	年 度				
			平成30年度	令和元年度(平成31年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
6	自排局	今橋	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3

注1) 地点番号は図4-1-4に対応する。

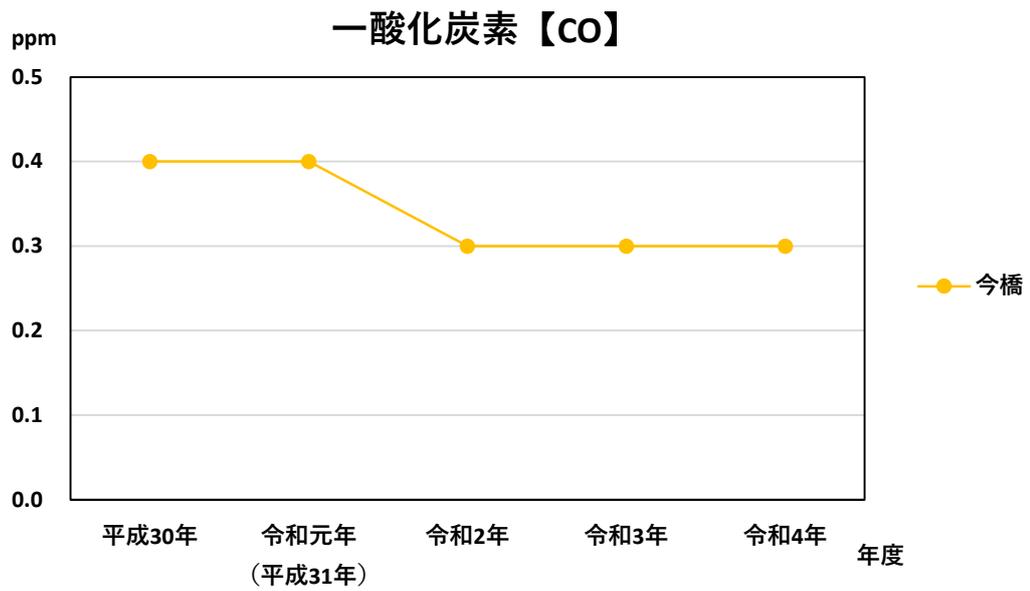
出典:「2022年度大気汚染調査結果」(令和5年6月、愛知県)

「2021年度大気汚染調査結果」(令和4年6月、愛知県)

「2020年度大気汚染調査結果」(令和3年6月、愛知県)

「2019年度大気汚染調査結果」(令和2年6月、愛知県)

「平成30年度大気汚染調査結果」(令和元年6月、愛知県)



出典：「2022年度大気汚染調査結果」（令和5年6月、愛知県）  
「2021年度大気汚染調査結果」（令和4年6月、愛知県）  
「2020年度大気汚染調査結果」（令和3年6月、愛知県）  
「2019年度大気汚染調査結果」（令和2年6月、愛知県）  
「平成30年度大気汚染調査結果」（令和元年6月、愛知県）

**図 4-1-9 一酸化炭素の経年変化（1日平均値の年間2%除外値）**

## 7) 微小粒子状物質 (PM2.5)

令和4年度の測定結果は表4-1-13に、過去5年間(平成30年度～令和4年度)の経年変化は表4-1-14及び図4-1-10に示すとおりです。

令和4年度における1日平均値の年間98パーセンタイル値は $15.3\mu\text{g}/\text{m}^3$ ～ $19.3\mu\text{g}/\text{m}^3$ 、年平均値は $6.4\mu\text{g}/\text{m}^3$ ～ $8.5\mu\text{g}/\text{m}^3$ であり、環境基準を達成しています。過去5年間の年平均値は、減少傾向にあります。

表4-1-13 微小粒子状物質の測定結果(令和4年度)

No.	種別	測定局	有効測定日数	1日平均値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日数	1日平均値の年間98パーセンタイル値	環境基準との比較(短期的)	年平均値	環境基準との比較(長期的)
			日	日	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	達成・非達成	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	達成・非達成
3	一般局	二川	362	0	18.6	○	8.0	○
4		野依	241	0	15.3	—	6.4	—
5		大崎	362	0	19.3	○	8.5	○
6	自排局	今橋	359	0	18.3	○	8.0	○

注1) 環境基準は、1年平均値が $15\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、1日平均値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。

注2) 環境基準との比較は、以下に示す評価による。(○:達成 ×:非達成)

短期的評価: 1日平均値の年間98パーセンタイル値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。

長期的評価: 年平均値が $15\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。

注3) 野依測定局は令和4年度の年間測定日数が250日に達していないため、データは参考値であることから、環境基準との比較は行っていない。また、2023年1月で測定機器を廃止している。

出典:「2022年度大気汚染調査結果」(令和5年6月、愛知県)

表4-1-14 微小粒子状物質の経年変化(1日平均値の年間98%値)

単位:  $\mu\text{g}/\text{m}^3$

No.	種別	測定局名	年 度				
			平成30年度	令和元年度(平成31年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
2	一般局	吾妻	25.3	21.8	19.9	19.1	—
3		二川	26.6	21.3	23.0	17.7	18.6
4		野依	24.0	21.5	22.8	17.7	15.3
5		大崎	27.9	23.3	23.8	19.0	19.3
6	自排局	今橋	23.8	25.0	23.1	21.3	18.3

注1) 吾妻測定局は、令和3年度で測定局が廃止されている。

注2) 野依測定局は令和4年度の年間測定日数が250日に達していないため、データは参考値である。

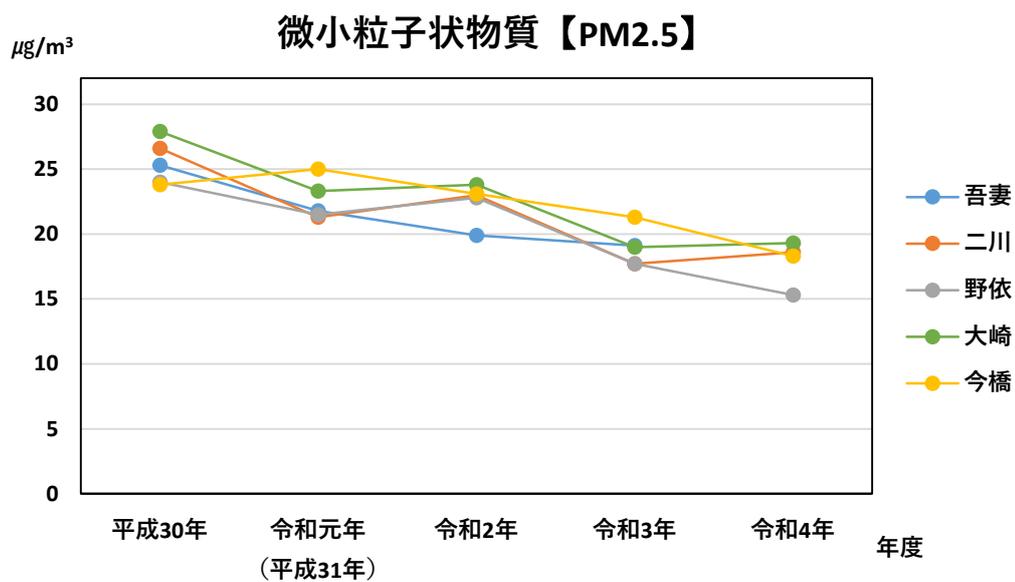
出典:「2022年度大気汚染調査結果」(令和5年6月、愛知県)

「2021年度大気汚染調査結果」(令和4年6月、愛知県)

「2020年度大気汚染調査結果」(令和3年6月、愛知県)

「2019年度大気汚染調査結果」(令和2年6月、愛知県)

「平成30年度大気汚染調査結果」(令和元年6月、愛知県)



出典：「2022年度大気汚染調査結果」（令和5年6月、愛知県）  
「2021年度大気汚染調査結果」（令和4年6月、愛知県）  
「2020年度大気汚染調査結果」（令和3年6月、愛知県）  
「2019年度大気汚染調査結果」（令和2年6月、愛知県）  
「平成30年度大気汚染調査結果」（令和元年6月、愛知県）

図 4-1-10 微小粒子状物質の経年変化（1日平均値の年間98%値）

## 8) 有害大気汚染物質

令和4年度の調査結果は表4-1-15に示すとおりです。

調査結果は環境基準及び指針値を達成しています。

表4-1-15 有害大気汚染物質調査結果（令和4年度）

No.		3	5	6	環境基準 または 指針値
測定局名		二川	大崎	今橋	
物質名	単位				
ベンゼン	μg/m <sup>3</sup>	0.48	0.57	0.55	3μg/m <sup>3</sup> 以下
トリクロロエチレン	μg/m <sup>3</sup>	0.091	0.110	0.090	130μg/m <sup>3</sup> 以下
テトラクロロエチレン	μg/m <sup>3</sup>	0.058	0.063	0.054	200μg/m <sup>3</sup> 以下
ジクロロメタン	μg/m <sup>3</sup>	1.9	1.8	1.3	150μg/m <sup>3</sup> 以下
アクリロニトリル	μg/m <sup>3</sup>	0.065	0.080	0.035	2μg/m <sup>3</sup> 以下
塩化ビニルモノマー	μg/m <sup>3</sup>	0.090	0.021	0.011	10μg/m <sup>3</sup> 以下
水銀及びその化合物	ngHg/m <sup>3</sup>	1.9	2.0	1.8	40ngHg/m <sup>3</sup> 以下
ニッケル化合物	ngNi/m <sup>3</sup>	1.3	1.9	1.1	25ngNi/m <sup>3</sup> 以下
クロロホルム	μg/m <sup>3</sup>	0.13	0.14	0.11	18μg/m <sup>3</sup> 以下
1,2-ジクロロエタン	μg/m <sup>3</sup>	0.14	0.15	0.12	1.6μg/m <sup>3</sup> 以下
1,3-ブタジエン	μg/m <sup>3</sup>	0.0073	0.0072	0.0072	2.5μg/m <sup>3</sup> 以下
ヒ素及びその化合物	ngAs/m <sup>3</sup>	0.57	0.81	0.60	6ngAs/m <sup>3</sup> 以下
マンガン及びその化合物	ngMn/m <sup>3</sup>	12	38	9.6	140ngMn/m <sup>3</sup> 以下
アセトアルデヒド	μg/m <sup>3</sup>	1.6	1.6	1.4	120μg/m <sup>3</sup> 以下
ホルムアルデヒド	μg/m <sup>3</sup>	2.9	2.8	2.8	-
酸化エチレン	μg/m <sup>3</sup>	0.041	0.067	0.065	-
ベンゾ[a]ピレン	ng/m <sup>3</sup>	0.069	0.088	0.051	-
クロム及びその化合物	ngCr/m <sup>3</sup>	2.4	13	2.1	-
ベリリウム及びその化合物	ngBe/m <sup>3</sup>	0.038	0.038	0.038	-
塩化メチル	μg/m <sup>3</sup>	0.31	0.32	0.31	94μg/m <sup>3</sup> 以下
トルエン	μg/m <sup>3</sup>	6.3	5.6	4.1	-

注1) 地点番号は図4-1-4に対応する。

注2) 年平均値を示す。

注3) 調査地点ごとの平均値の算出は算術平均により、測定値が検出下限値未満の場合は、検出下限値の1/2として算出した。

出典：「2022年度大気汚染調査結果」（令和5年6月、愛知県）

## 9) ダイオキシン類

令和4年度の調査結果は表4-1-16に、過去5年間（平成30年度～令和4年度）の経年変化は表4-1-17及び図4-1-11に示すとおりです。

令和4年度における年平均値は0.0078pg-TEQ/m<sup>3</sup>～0.047pg-TEQ/m<sup>3</sup>であり、環境基準を達成しています。過去5年間の年平均値は、概ね横ばい傾向にあります。

**表 4-1-16 ダイオキシン類大気環境調査結果（令和4年度）**

No.	調査地点	年平均値	環境基準	調査年月日
		pg-TEQ/m <sup>3</sup>	pg-TEQ/m <sup>3</sup>	
7	大崎校区市民館	0.047	0.6	春季：2022.5.6～5.13 夏季：2022.7.14～7.21 秋季：2022.10.6～10.13 冬季：2023.1.12～1.19
8	豊橋市役所	0.0078		

注1) 地点番号は図4-1-4に対応する。

出典：「2022年度のダイオキシン類に係る環境調査結果について」（令和5年7月、愛知県）

**表 4-1-17 ダイオキシン類大気環境調査結果の経年変化（年平均値）**

単位：pg-TEQ/m<sup>3</sup>

No.	調査地点	年度				
		平成30年度	令和元年度 (平成31年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
7	大崎校区市民館	0.044	0.013	0.023	0.020	0.047
8	豊橋市役所	0.015	0.0089	0.011	0.010	0.0078

注1) 地点番号は図4-1-4に対応する。

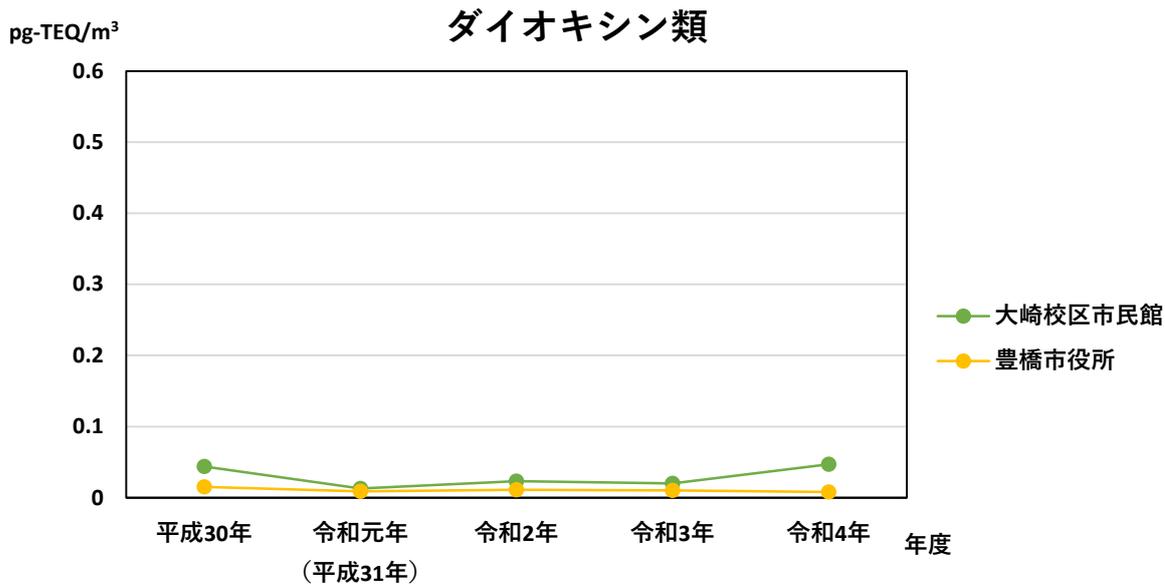
出典：「2022年度のダイオキシン類に係る環境調査結果について」（令和5年7月、愛知県）

「2021年度のダイオキシン類に係る環境調査結果について」（令和4年7月、愛知県）

「2020年度のダイオキシン類に係る環境調査結果について」（令和3年7月、愛知県）

「2019年度のダイオキシン類に係る環境調査結果について」（令和2年7月、愛知県）

「2018年度のダイオキシン類に係る環境調査結果について」（令和元年7月、愛知県）



出典：「2022年度のダイオキシン類に係る環境調査結果について」（令和5年7月、愛知県）  
「2021年度のダイオキシン類に係る環境調査結果について」（令和4年7月、愛知県）  
「2020年度のダイオキシン類に係る環境調査結果について」（令和3年7月、愛知県）  
「2019年度のダイオキシン類に係る環境調査結果について」（令和2年7月、愛知県）  
「2018年度のダイオキシン類に係る環境調査結果について」（令和元年7月、愛知県）

図 4-1-11 ダイオキシン類大気調査結果の経年変化（年平均値）

### (3) 騒音の状況

#### 1) 一般環境騒音

調査区域における、令和4年度の一般環境騒音の測定結果は表4-1-18に、測定地点は図4-1-12に示すとおりです。調査区域内の田原市に位置する測定地点はありません。

調査結果は環境基準を達成しています。

表4-1-18 一般環境騒音調査結果（令和4年度）

No.	市	調査地点	地域 類型	時間 区分	測定値 (dB)	環境 基準 (dB)	環境基準 達成状況
							達成○ 非達成×
1	豊橋市	豊岡地区市民館	A	昼間	46	55	○
				夜間	37	45	○
2		東部地区市民館	A	昼間	44	55	○
				夜間	37	45	○
3		本郷地区市民館	A	昼間	44	55	○
				夜間	35	45	○
4		牟呂地区市民館	A	昼間	48	55	○
				夜間	40	45	○
5		南部地区市民館	A	昼間	47	55	○
				夜間	40	45	○
6		石巻地区市民館	B	昼間	48	55	○
				夜間	44	45	○
7	高師台地区市民館	B	昼間	48	55	○	
			夜間	39	45	○	
8	杉山地区市民館	B	昼間	50	55	○	
			夜間	42	45	○	
9	大清水地区市民館	B	昼間	46	55	○	
			夜間	39	45	○	
10	豊城地区市民館	B	昼間	47	55	○	
			夜間	39	45	○	
11	向山地区市民館	B	昼間	45	55	○	
			夜間	38	45	○	
12	二川地区市民館	C	昼間	47	60	○	
			夜間	42	50	○	

注1) 地点番号は図4-1-12に対応する。

注2) 地域類型A：専ら住居の用に供される地域

地域類型B：主として住居の用に供される地域

地域類型C：相当数の住居と併せて商業、工業等の用に供される地域

出典：「令和5年度版（令和4年度）統計結果」（豊橋市 環境部 環境保全課）

## 2) 道路交通騒音

### ① 環境基準の適合状況

調査区域における、令和4年度の道路交通騒音の測定結果は表4-1-19に、測定地点は図4-1-12に示すとおりです。

道路交通騒音の調査地点は9箇所あり、一般国道1号の豊橋市飯村町地点及び豊橋市下地町地点において昼間、夜間の測定値が環境基準を達成していません。

表4-1-19 道路交通騒音測定結果（令和4年度）

No.	市	道路名	測定地点	時間区分	測定値 (dB)	環境基準 (dB)	環境基準達成状況
							達成○ 非達成×
13	豊橋市	一般国道1号	豊橋市飯村町	昼間	74	70	×
				夜間	69	65	×
14		一般国道1号	豊橋市三ノ輪町	昼間	70	70	○
				夜間	65	65	○
15		一般国道1号	豊橋市下地町	昼間	75	70	×
				夜間	69	65	×
16		一般国道259号	豊橋市富本町	昼間	68	70	○
				夜間	62	65	○
17		一般国道259号	豊橋市中松山町	昼間	64	70	○
				夜間	59	65	○
18	一般国道259号	豊橋市老津町	昼間	65	70	○	
			夜間	60	65	○	
19	東三河環状線	豊橋市緑ヶ丘	昼間	61	70	○	
			夜間	55	65	○	
20	豊橋環状線	豊橋市老松町	昼間	66	70	○	
			夜間	60	65	○	
21	伊古部南栄線	豊橋市高師町	昼間	66	70	○	
			夜間	60	65	○	

注1) 地点番号は図4-1-12に対応する。

注2) 環境基準達成は「騒音に係る環境基準について」（平成10年9月30日環境庁告示第64号、最終改正：令和2年3月30日号外環境省告示3号）に基づく「幹線交通を担う道路に近接する空間」における環境基準（昼間70dB、夜間65dB）により評価する。

注3) 昼間：6～22時、夜間：22～6時

出典：「令和4年度 騒音・振動に係る調査結果」（豊橋市環境部環境保全課）

## ② 要請限度の適合状況

調査区域における、令和4年度の騒音規制法（昭和43年6月10日法律第98号、最終改正：令和4年6月17日法律第68号）に基づく自動車騒音の限度（要請限度）の測定結果は表4-1-20に、測定地点は図4-1-12に示すとおりです。

すべての測定地点において、要請限度を超過していません。

**表 4-1-20 道路交通騒音測定結果（要請限度（令和4年度））**

No.	市	路線名	測定地点	時間区分	測定値 (dB)	要請限度 (dB)
22	豊橋市	一般国道1号	豊橋市飯村町字茶屋	昼間	73	75
				夜間	68	70
23		一般国道1号	豊橋市下地町字瀬上	昼間	75	75
				夜間	69	70
24		一般国道259号	豊橋市富本町字国隠	昼間	68	75
				夜間	63	70
25		一般国道23号	豊橋市野依町字寸沢	昼間	67	75
				夜間	65	70

注1) 地点番号は図4-1-12に対応する。

注2) 昼間：6～22時、夜間：22～6時

注3) 要請限度超過状況は「騒音規制法第十七条第一項の規定に基づく指定地域内における自動車騒音の限度を定める省令」（平成12年3月2日総理府令第15号、最終改正：令和2年3月30日環境省令第9号）に基づく「幹線交通を担う道路に近接する区域」における自動車騒音の限度（昼間75dB、夜間70dB）により評価する。

出典：「令和4年度 騒音・振動に係る調査結果」（豊橋市環境部環境保全課）

#### (4) 振動の状況

##### 1) 一般環境振動

調査区域において、一般環境振動の測定は行われていません。

##### 2) 道路交通振動

調査区域における、令和4年度の道路交通振動測定結果は表4-1-21に、測定地点は図4-1-12に示すとおりです。調査区域内の田原市に位置する測定地点はありません。

すべての測定地点において、振動規制法（昭和51年6月10日法律第64号、最終改正：令和4年6月17日法律第68号）に基づく道路交通振動の限度（要請限度）を超過していません。

表 4-1-21 道路交通振動測定結果（要請限度（令和4年度））

No.	路線名	測定地点	用途地域	時間区分	測定値 (dB)	要請限度 (dB)
22	一般国道1号	豊橋市飯村町字茶屋	第一種住居地域 第二種住居地域 準住居地域	昼間	34	65
				夜間	29	60
23	一般国道1号	豊橋市下地町字瀬上	準工業地域 工業地域	昼間	43	70
				夜間	38	65
24	一般国道259号	豊橋市富本町字国隠	第一種住居地域 第二種住居地域 準住居地域	昼間	33	65
				夜間	26	60
25	一般国道23号	豊橋市野依町字寸沢	都市計画区域内で 用途地域の定めら れていない地域 (市街化調整区域)	昼間	43	70
				夜間	44	65

注1) 地点番号は図4-1-12に対応する。

注2) 昼間：7～20時、夜間：20～7時

注3) 要請限度超過状況は「振動規制法施行規則」（昭和51年11月10日総理府令第58号、最終改正：令和3年3月25日環境省令3号）に基づき区域ごとに指定される道路交通振動の限度により評価する。

注4) 区域の指定により、第一種及び第二種低層住居専用地域、第一種及び第二種中高層住居専用地域、第一種住居地域、第二種住居地域、準住居地域における要請限度の基準値は昼間65dB、夜間60dB、市街化調整区域、近隣商業地域、準工業地域、工業地域における要請限度の基準値は昼間70dB、夜間65dBである。

出典：「令和4年度 騒音・振動に係る調査結果」（豊橋市環境部環境保全課）

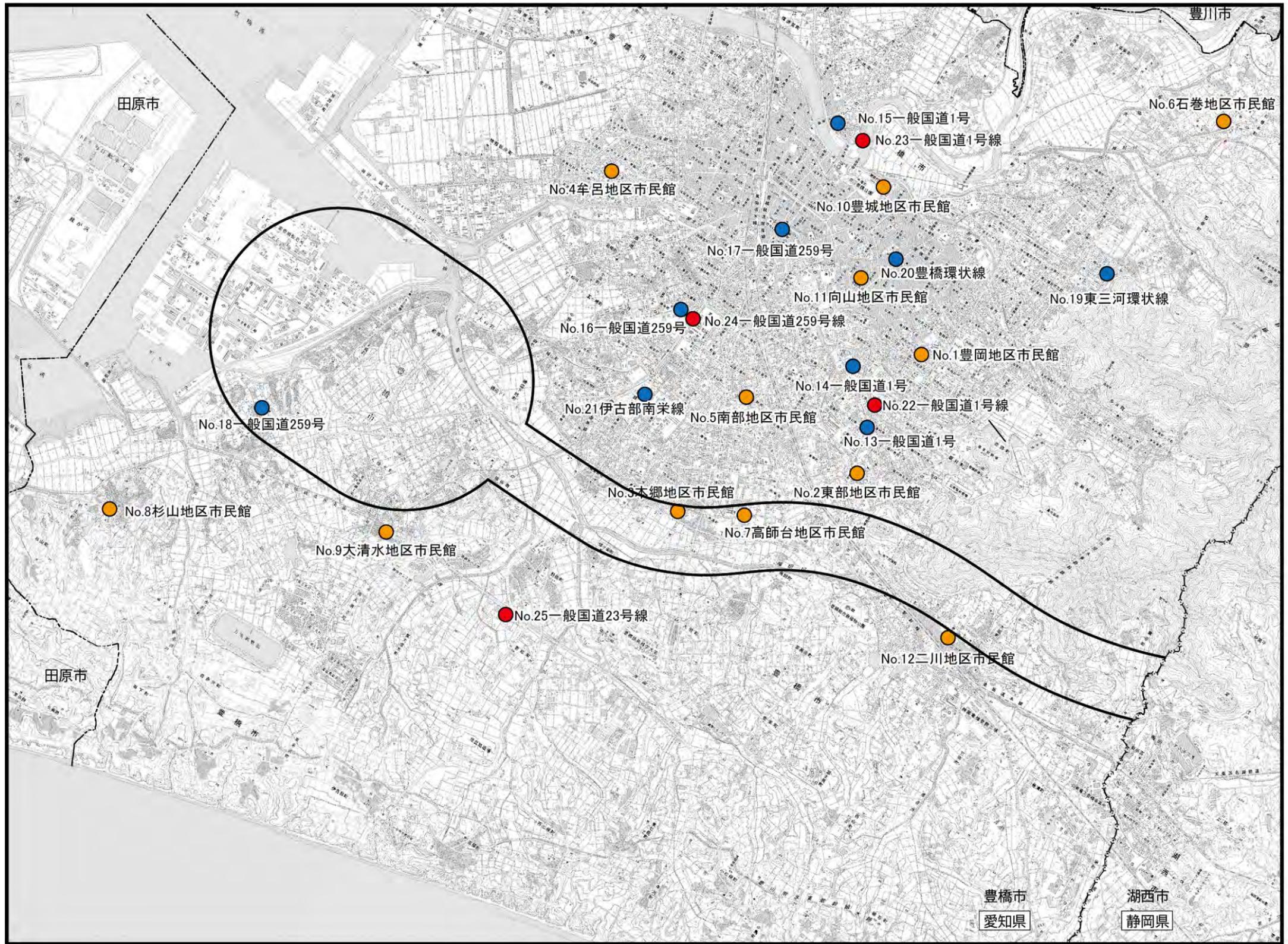
#### (5) その他の大気の状態

##### 1) 低周波音

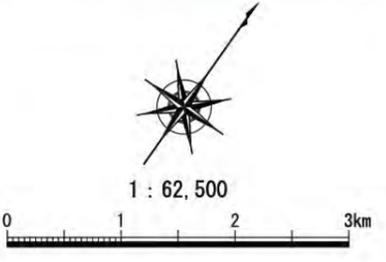
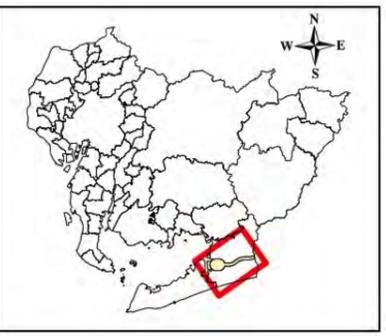
調査区域において、低周波音に関する測定は行われていません。

##### 2) 悪臭

調査区域において、悪臭に関する測定は行われていません。



- 凡 例
- : 都市計画対象道路事業実施区域
  - : 県境
  - : 市町村界
  - : 一般環境騒音調査地点
  - : 道路交通騒音調査地点(環境基準)
  - : 道路交通騒音・振動調査地点(要請限度)



出典：「令和5年度版（令和4年度）統計結果」（豊橋市 環境部 環境保全課）  
 「令和4年度 騒音・振動に係る調査結果」（豊橋市環境部環境保全課）

図 4-1-12 騒音・振動測定箇所位置図

## 1.2. 水象、水質、水底の底質その他水に係る環境の状況

### (1) 水象の概況

調査区域における主な河川は表 4-1-22(1)～(3)及び図 4-1-13 に示すとおりです。梅田川水系、境川水系、紙田川水系、豊川水系、柳生川水系の河川が三河湾に向かって流下しています。主要な河川として、梅田川、西ノ川、浜田川等があります。また、豊川用水が、農業用水、水道水、工業用水として整備されています。調査区域における海域としては、遠州灘、三河湾（渥美湾）があります。

各水系の概要は、表 4-1-23 に示すとおりです。

表 4-1-22(1) 河川一覧

No.	水系	河川名	延長 (km)	等級
1	豊川水系	豊川	77.00	一級河川
2		朝倉川	8.63	一級河川
3		沖野川	—	準用河川
4		内山川	2.64	準用河川
5		赤岩川	—	普通河川
6		宮井戸川	—	準用河川
7		眼鏡川	—	普通河川
8		神田川	6.22	一級河川
9		三輪川	3.13	その他河川
10		矢田川	1.73	その他河川
11		大江川	—	準用河川
12		江川	—	一級河川
13		南江川	—	その他河川
14		馬越川	—	一級河川
15	柳生川水系	柳生川	6.50	二級河川
16		富田川	—	普通河川
17		山田川	—	普通河川
18		山中川	0.70	二級河川
19		内山川	—	普通河川
20		地藏川	—	準用河川
21		長三川	—	準用河川
22		殿田川	2.70	二級河川
23		南殿田川	—	準用河川
24		北殿田川	—	普通河川
25	梅田川水系	梅田川	14.40	二級河川
26		山崎川	—	準用河川
27		内張川	4.10	二級河川
28		西ノ川	4.30	二級河川
29		落合川	—	その他の河川
30		大縄手川	—	その他の河川
31		浜田川	3.70	二級河川
32		仏餉川	—	普通河川
33		高塚川	—	準用河川
34		二の沢川	—	その他の河川
35		大山川	—	普通河川
36		比留茂川	—	その他の河川

表 4-1-22(2) 河川一覧

No.	水系	河川名	延長 (km)	等級	
37	梅田川水系	猿ヶ谷川	—	その他の河川	
38		銭田川	—	その他の河川	
39		田濃川	—	普通河川	
40		八田平川	—	準用河川	
41		百々川	—	その他の河川	
42		坪口川	1.70	二級河川	
43		藤波川	—	その他の河川	
44		権茂川	—	準用河川	
45		東高田川	—	普通河川	
46		火打坂川	—	準用河川	
47		沢渡川	—	普通河川	
48		東郷内川	—	普通河川	
49		宮川	—	普通河川	
50		新橋川	—	その他の河川	
51		落合川	4.40	二級河川	
52		墨焼川	—	その他の河川	
53		阿羅田川	—	普通河川	
54		景色川	—	普通河川	
55		精進川	1.70	二級河川	
56		中原川	—	普通河川	
57		境川	4.70	二級河川	
58		藤ヶ谷川	—	準用河川	
59		半尻川	1.20	二級河川	
60		境川水系	境川	1.90	二級河川
61			塚松川	—	準用河川
62		紙田川水系	紙田川	3.90	二級河川
63			清水川	—	準用河川
64			丸山川	—	普通河川
65			神出川	—	普通河川
66	庄兵ヱ川		—	その他の河川	
67	細田川		—	普通河川	
68	橋詰川		2.51	準用河川	
69	その他の水系	二十間川	—	普通河川	
70		五間川	—	その他河川	
71		八間川	—	その他河川	
72		味噌川	—	その他河川	
73		西方部川	—	その他河川	
74		茶ノ木川	—	普通河川	
75		荒谷川	—	普通河川	
76		浜辺川	—	普通河川	
77		観音川	—	普通河川	
78		小判田川	—	普通河川	
79	その他の水系 (田原市)	青尾川	1.4	普通河川	
80		ヒロ藻川	1.9	準用河川	
81		江縄川	1.0	普通河川	

表 4-1-22(3) 河川一覧

No.	水系	河川名	延長 (km)	等級
82	用水路	牟呂用水	23.0	用水路
83		豊川用水東部幹線	76.0	幹線用水
84		松原用水	—	用水路

注) 河川名について「豊橋市河川図」に基づき記載したが、河川延長は不明だったため「—」とした。

- 出典：「二級河川梅田川水系河川整備計画」(令和元年5月17日、愛知県・静岡県)  
 「二級河川境川(老津)水系河川整備基本方針」(令和元年5月17日、愛知県)  
 「二級河川紙田川水系河川整備基本方針」(令和元年5月17日、愛知県)  
 「豊川水系河川整備基本方針 豊川水系流域及び河川の概要」  
 (国土交通省、平成11年12月1日策定)  
 「朝倉川とともに… 子どもたちの体験を持続可能なチカラに 朝倉川流域ビジョン」  
 (朝倉川育水フォーラム、2015年)  
 「二級河川柳生川水系 河川整備基本方針」(愛知県、平成23年4月1日)  
 「朝倉川流域ビジョン2005資料編」(特定非営利活動法人朝倉川育水フォーラム  
 玉野総合コンサルタント株式会社、2005年3月)  
 「豊橋市河川図」(2001年10月、豊橋市)  
 「たはら e マップ」(田原市ホームページ)

表 4-1-23 水系の概要

水系	区分	水系の位置	河川延長	流域面積	下流部の 川幅
豊川	一級河川	豊川は、その源を愛知県北設楽群設楽町の段戸山に発し、山間溪谷を流れ、宇連川を合わせ、豊川市行明で豊川放水路を分派し、豊川市内を流れ、三河湾に注ぐ。	約 77.0km	約 724.00km <sup>2</sup>	190m
柳生川	二級河川	柳生川は、静岡県湖西市と境を接する弓張山地西側の豊橋市飯村町の丘陵地をその源とした殿田川と、その北側を殿田川と並行して流れる山中川が豊橋市三ノ輪町付近で合流し柳生川となり、市街地を西流し、流向を南西に転じて三河湾に注ぐ。	約 6.5km	約 23.90km <sup>2</sup>	約 30～40m
梅田川	二級河川	梅田川は、愛知県豊橋市雲谷町地先に源を発し、愛知県と静岡県の県境を南に流下し、途中、境川、精進川、落合川、坪口川、浜田川、西ノ川、内張川を合流し、三河湾に注ぐ。	14.4km	89.00km <sup>2</sup>	約 80～200m
境川	二級河川	境川（老津）は、その源を愛知県豊橋市大清水町地先に発し、大清水町や大崎町等を流下し、境松川などのいくつかの支川と合流した後、三河湾に注ぐ。	約 1.9km	3.82km <sup>2</sup>	約 7～25m
浜田川	二級河川	浜田川は、梅田川水系の支川であり、梅田川 3.9k 地点に合流する。同流域の土地利用は畑地・原野が約 75%である。	約 3.7km	18.7 km <sup>2</sup>	約 15～35m
紙田川	二級河川	紙田川は、その源を愛知県豊橋市東赤沢町地先に発し、西赤沢町や老津町等を縦断して流下し、清水川などのいくつかの支川と合流した後、田原湾に注ぐ。	約 3.9km	14.53km <sup>2</sup>	約 15～50m

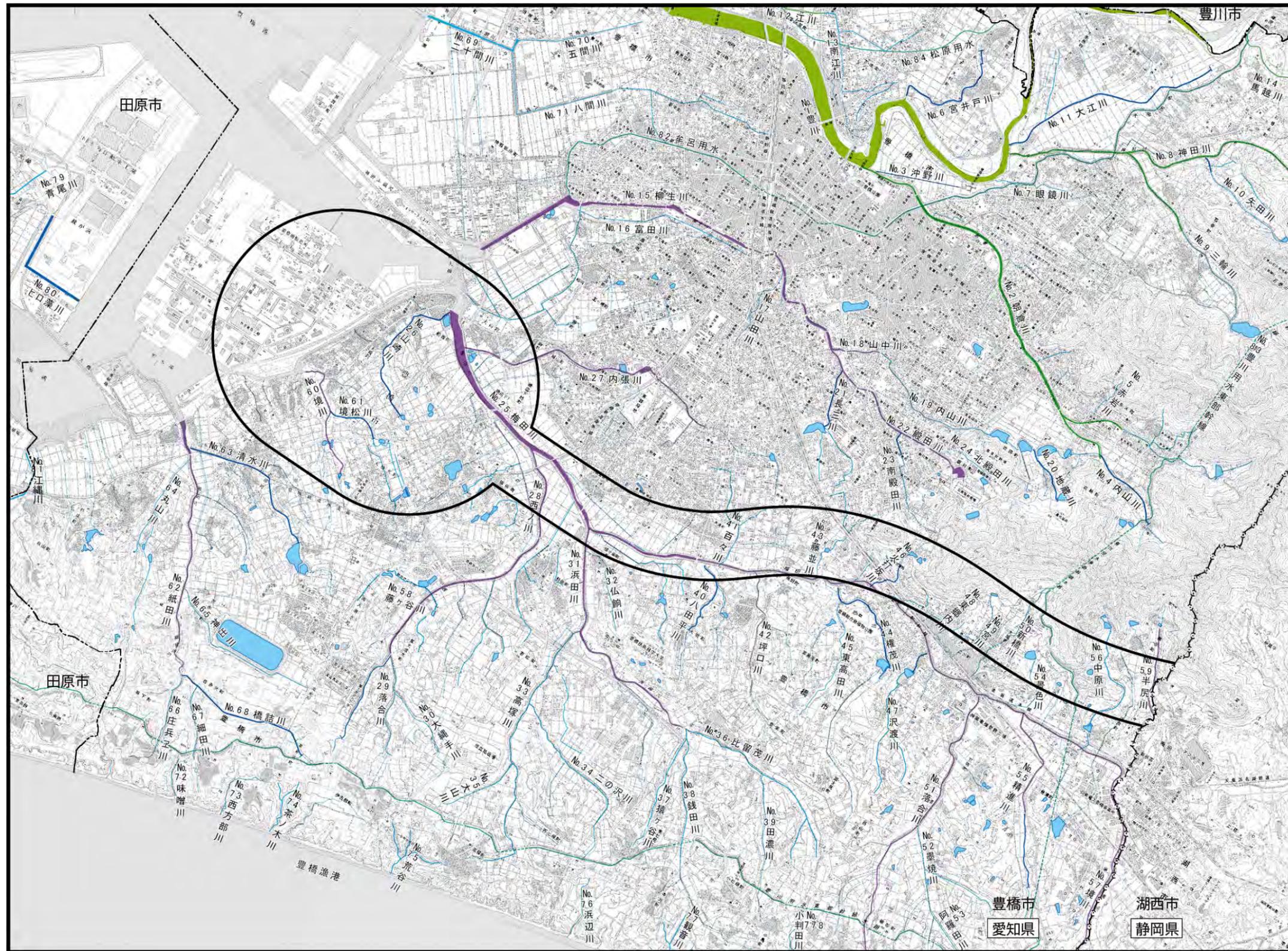
出典：「二級河川梅田川水系河川整備計画」（令和元年5月17日、愛知県・静岡県）

「二級河川境川（老津）水系河川整備基本方針」（令和元年5月17日、愛知県）

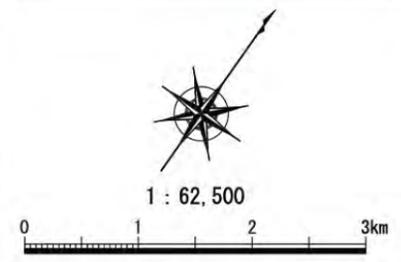
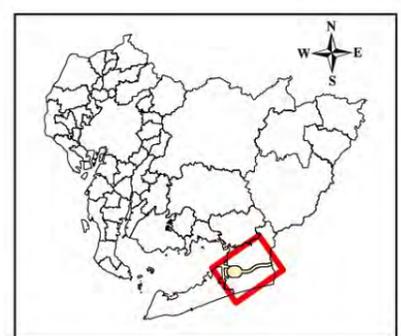
「二級河川紙田川水系河川整備基本方針」（令和元年5月17日、愛知県）

「豊川水系河川整備基本方針」（平成28年7月14日更新、国土交通省）

「二級河川柳生川水系 河川整備基本方針」（平成23年4月1日、愛知県）



- 凡例
- : 都市計画対象道路事業実施区域
  - : 県境
  - : 市町村界
  - : 一級河川(直轄)
  - : 一級河川(県管理)
  - : 二級河川
  - : 準用河川
  - : その他の河川
  - : 普通河川
  - : 幹線水路
  - : 幹線水路(管渠)
  - : 用水路
  - : ため池



出典 : 「豊橋市河川図」(2001年10月、豊橋市)  
 「ため池ハザードマップ」(豊橋市ホームページ)  
 「たはらeマップ」(田原市ホームページ)

図 4-1-13 河川位置図

## (2) 水質の状況

### 1) 河川

#### ① 生活環境項目

調査区域における令和4年度の公共用水域水質（生活環境項目）調査は11地点で行われており、調査地点は図4-1-14に、調査結果は表4-1-24(1)～(2)に示すとおりです。また、過去5年間の調査結果の推移は表4-1-25(1)～(5)、表4-1-26(1)～(3)、表4-1-27(1)～(2)に示すとおりです。

生活環境項目については、令和4年度の測定結果では、全ての測定地点において、測定された全項目について環境基準を達成しています。過去5年間の測定結果では、梅田川の飛越橋における令和元年度及び令和3年度の生物化学的酸素要求量（以下、BODと記載する）が環境基準を達成していません。

また、水生生物の保全に係る環境基準項目は、過去5年間の測定結果では、測定された全項目について環境基準を達成しています。

表4-1-24(1) 水質（河川・生活環境項目）調査結果（令和4年度）

No.	水域名	調査地点	類型	pH	DO	BOD	SS	大腸菌数
					(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(CFU/100mL)
1	豊川下流	吉田大橋	A	6.9～7.8	9.7	0.8	3	1.2E2
2	豊川中流	当古橋	A	6.8～7.7	10	0.8	3	4.8E1
3	朝倉川	境橋		7.7～7.8	10	1.2	2	6.5E2
4	神田川	神田川橋		7.7～7.9	9.8	1.1	3	9.4E2
5	柳生川	市場橋		-	-	-	-	-
6		上富田橋		-	-	-	-	-
7		下立合橋		7.4～8.2	10	3.7	4	-
8	梅田川	植田橋	C	7.2～7.8	8.9	4.2	16	-
9		御厩橋	C	7.4～8.2	9.9	3.0	3	-
10		飛越橋	C	7.4～7.7	8.5	4.2	6	-
11	浜田川	佐久良橋		7.2～7.4	10	2.3	6	-
環境基準			AA	6.5～8.5	7.5以上	1以下	25以下	20以下
			A	6.5～8.5	7.5以上	2以下	25以下	300以下
			B	6.5～8.5	5以上	3以下	25以下	1,000以下
			C	6.5～8.5	5以上	5以下	50以下	-
			D	6.0～8.5	2以上	8以下	100以下	-
			E	6.0～8.5	2以上	10以下	ゴミ等の浮遊が認められないこと。	-

注1) 地点番号は図4-1-14に対応する。

注2) pHは最小～最大、BODは年間75%水質値、大腸菌数は90%値、その他の項目は年平均値を示す。

注3) 表中の「-」は、測定が行われていないまたは公表されていないことを示す。

注4) 大腸菌数は、指数表示であり、0.0 E〇 は0.0×10〇を意味する。

出典：「2022年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

表 4-1-24(2) 水質（河川・水生生物の保全に係る環境基準項目）調査結果（令和4年度）

No.	水域名	調査地点	類型	全亜鉛	ノニルフェノール	IAS
				(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
1	豊川（イ）	吉田大橋	生物 B	0.004	<0.00006	<0.0006
2		当古橋	生物 B	0.004	—	—
3	朝倉川	境橋		0.006	—	—
4	神田川	神田川橋		0.003	—	—
5	柳生川	市場橋		—	—	—
6		上富田橋		—	—	—
7		下立合橋		0.008	<0.00006	0.011
8	梅田川	植田橋	生物 B	0.025	—	—
9		御厩橋	生物 B	0.021	<0.00006	0.0034
10		飛越橋	生物 B	0.019	—	—
11	浜田川	佐久良橋		0.005	—	—
環境基準			生物 A	0.03 以下	0.001 以下	0.03 以下
			生物特 A	0.03 以下	0.0006 以下	0.02 以下
			生物 B	0.03 以下	0.002 以下	0.05 以下
			生物特 B	0.03 以下	0.002 以下	0.04 以下

注1) 地点番号は図4-1-14に対応する。

注2) 年平均値を示す。

注3) 表中の「—」は、測定が行われていないまたは公表されていないことを示す。

注4) 斜線で示した河川は、環境基準の類型指定がされていないことを示す。

出典：「2022年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

表 4-1-25(1) 水質（河川・生活環境項目（pH））の経年変化

No.	水域名	調査地点	年 度				
			平成 30 年度	令和元年度 (平成 31 年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
1	豊川下流	吉田大橋	7.3	7.3	7.4	7.3	7.3
2	豊川中流	当古橋	7.4	7.2	7.3	7.3	7.2
3	朝倉川	境橋	7.8	7.9	8.0	7.9	7.8
4	神田川	神田川橋	7.8	7.9	7.9	7.9	7.8
5	柳生川	市場橋	7.3	7.6	7.5	7.5	—
6		上富田橋	7.5	7.5	7.3	7.5	—
7		下立合橋 <sup>注3)</sup>	7.3	7.4	7.5	7.5	7.7
8	梅田川	植田橋	7.2	7.4	7.4	7.4	7.4
9		御厩橋	7.5	7.6	7.7	7.6	7.8
10		飛越橋	7.4	7.4	7.5	7.5	7.6
11	浜田川	佐久良橋	7.3	7.3	7.2	7.4	7.3

注1) 地点番号は図4-1-14に対応する。

注2) 年平均値を示す。

注3) 下立合橋の令和2年度以前は、柳生橋のデータを示す。

注4) 表中の「—」は、測定が行われていないまたは公表されていないことを示す。

出典：「2022年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2021年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2020年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2019年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2018年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

表 4-1-25(2) 水質（河川・生活環境項目（D0））の経年変化

No.	水域名	調査地点	年 度				
			平成 30 年度	令和元年度 (平成 31 年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
1	豊川下流	吉田大橋	9.4	9.3	10	9.8	9.7
2	豊川中流	当古橋	11	9.8	11	11	10
3	朝倉川	境橋	10	9.5	9.4	9.7	10
4	神田川	神田川橋	9.5	9.8	9.3	9.4	9.8
5	柳生川	市場橋	6.1	6.5	7.7	9.4	—
6		上富田橋	6.3	6.5	7.9	7.8	—
7		下立合橋 <sup>注4)</sup>	8.6	9.0	9.3	9.7	10
8	梅田川	植田橋	5.9	7.1	7.9	8.9	8.9
9		御厩橋	9.3	9.6	10	10	9.9
10		飛越橋	8.3	8.4	8.7	8.7	8.5
11	浜田川	佐久良橋	8.7	9.9	11	11	10

注1) 地点番号は図4-1-14に対応する。

注2) 年平均値を示す。

注3) 単位は、mg/L である。

注4) 下立合橋の令和2年度以前は、柳生橋のデータを示す。

注5) 表中の「—」は、測定が行われていないまたは公表されていないことを示す。

出典：「2022年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2021年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2020年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2019年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2018年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

表 4-1-25(3) 水質（河川・生活環境項目（BOD））の経年変化

No.	水域名	調査地点	年 度				
			平成 30 年度	令和元年度 (平成 31 年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
1	豊川下流	吉田大橋	1.0	1.0	1.6	0.7	0.8
2	豊川中流	当古橋	0.5	0.6	1.0	0.7	0.8
3	朝倉川	境橋	1.3	1.7	1.3	1.8	1.2
4	神田川	神田川橋	1.1	1.4	1.6	2.0	1.1
5	柳生川	市場橋	4.8	4.2	3.4	5.9	—
6		上富田橋	6.3	4.4	3.5	4.2	—
7		下立合橋	3.3	3.8	3.7	5.0	3.7
8	梅田川	植田橋	5.7	3.7	2.7	4.6	4.2
9		御厩橋	3.1	4.6	3.9	4.6	3.0
10		飛越橋	4.9	5.4	4.8	6.8	4.2
11	浜田川	佐久良橋	2.0	2.0	5.3	2.7	2.3

注1) 地点番号は図4-1-14に対応する。

注2) 年間75%水質値を示す。

注3) 単位は、mg/L である。

注4) 表中の「—」は、測定が行われていないまたは公表されていないことを示す。

注5) 下立合橋の令和2年度以前は、柳生橋のデータを示す。

出典：「2022年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2021年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2020年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2019年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2018年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

表 4-1-25(4) 水質（河川・生活環境項目（SS））の経年変化

No.	水域名	調査地点	年 度				
			平成 30 年度	令和元年度 (平成 31 年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
1	豊川下流	吉田大橋	4	3	5	4	3
2	豊川中流	当古橋	1	2	2	2	3
3	朝倉川	境橋	2	2	3	2	2
4	神田川	神田川橋	2	3	4	3	3
5	柳生川	市場橋	12	11	19	11	—
6		上富田橋	13	16	9	9	—
7		下立合橋 <sup>注4)</sup>	7	7	6	8	4
8	梅田川	植田橋	12	16	10	14	16
9		御厩橋	5	5	6	4	3
10		飛越橋	8	7	6	7	6
11	浜田川	佐久良橋	4	3	5	7	6

注1) 地点番号は図4-1-14に対応する。

注2) 年平均値を示す。

注3) 単位は、mg/Lである。

注4) 下立合橋の令和2年度以前は、柳生橋のデータを示す。

注5) 表中の「—」は、測定が行われていないまたは公表されていないことを示す。

出典：「2022年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2021年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2020年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2019年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2018年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

表 4-1-25(5) 水質（河川・生活環境項目（大腸菌群数及び大腸菌数））の経年変化

No.	水域名	調査地点	年 度				
			平成 30 年度	令和元年度 (平成 31 年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
1	豊川下流	吉田大橋	3.5E4	3.5E3	5.2E3	4.8E3	1.2E2
2	豊川中流	当古橋	3.0E3	3.3E3	2.3E3	3.3E3	4.8E1
3	朝倉川	境橋	9.8E3	2.8E3	1.6E4	8.5E3	6.5E2
4	神田川	神田川橋	2.9E4	6.7E3	4.6E4	1.6E4	9.4E2
5	柳生川	市場橋	—	—	—	—	—
6		上富田橋	—	—	—	—	—
7		下立合橋 <sup>注6)</sup>	—	—	—	—	—
8	梅田川	植田橋	—	—	—	—	—
9		御厩橋	—	—	—	—	—
10		飛越橋	—	—	—	—	—
11	浜田川	佐久良橋	—	—	—	—	—

注1) 地点番号は図4-1-14に対応する。

注2) 令和3年度までは大腸菌群数、令和4年度は大腸菌数として調査を行った。

注3) 令和3年度までは年平均値、令和4年度は90%値を示す。

注4) 単位は、令和3年度まではMPN/100mL、令和4年度はCFU/100mLである。

注5) 大腸菌数は指数表示であり、0.0 E〇 は0.0×10〇を意味する。

注6) 下立合橋の令和2年度以前は、柳生橋のデータを示す。

注7) 表中の「—」は、測定が行われていないまたは公表されていないことを示す。

出典：「2022年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2021年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2020年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2019年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2018年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

表 4-1-26(1) 水質（河川・水生生物基準項目（全亜鉛））の経年変化

No.	水域名	調査地点	年 度				
			平成 30 年度	令和元年度 (平成 31 年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
1	豊川（イ）	吉田大橋	0.003	0.002	0.003	0.003	0.004
2		当古橋	0.002	0.001	0.002	0.002	0.004
3	朝倉川	境橋	0.004	0.006	0.008	0.005	0.006
4	神田川	神田川橋	0.009	0.004	0.004	0.003	0.003
5	柳生川	市場橋	0.019	0.009	0.020	0.014	—
6		上富田橋	—	—	—	—	—
7		下立合橋 <sup>注5)</sup>	0.015	0.014	0.016	0.010	0.008
8	梅田川	植田橋	0.020	0.015	0.022	0.023	0.025
9		御厩橋	0.030	0.021	0.022	0.020	0.021
10		飛越橋	0.015	0.019	0.025	0.017	0.019
11	浜田川	佐久良橋	0.008	0.006	0.014	0.007	0.005

注1) 地点番号は図4-1-14に対応する。

注2) 年平均値を示す。

注3) 単位は、mg/Lである。

注4) 表中の「—」は、測定が行われていないまたは公表されていないことを示す。

注5) 下立合橋の令和2年度以前は、柳生橋のデータを示す。

出典：「2022年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2021年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2020年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2019年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2018年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

表 4-1-26(2) 水質（河川・水生生物基準項目（ノニルフェノール））の経年変化

No.	水域名	調査地点	年 度				
			平成 30 年度	令和元年度 (平成 31 年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
1	豊川（イ）	吉田大橋	<0.00006	0.00010	<0.00006	<0.00006	<0.00006
2		当古橋	—	—	—	—	—
3	朝倉川	境橋	—	—	—	—	—
4	神田川	神田川橋	—	—	—	—	—
5	柳生川	市場橋	—	—	—	—	—
6		上富田橋	—	—	—	—	—
7		下立合橋 <sup>注5)</sup>	0.00006	<0.00006	<0.00006	0.00013	<0.00006
8	梅田川	植田橋	—	—	—	—	—
9		御厩橋	0.00006	<0.00006	<0.00006	0.00011	<0.00006
10		飛越橋	—	—	—	—	—
11	浜田川	佐久良橋	—	—	—	—	—

注1) 地点番号は図4-1-14に対応する。

注2) 年平均値を示す。

注3) 単位は、mg/Lである。

注4) 表中の「—」は、測定が行われていないまたは公表されていないことを示す。

注5) 下立合橋の令和2年度以前は、柳生橋のデータを示す。

出典：「2022年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2021年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2020年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2019年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2018年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

表 4-1-26(3) 水質（河川・水生生物基準項目（LAS））の経年変化

No.	水域名	調査地点	年 度				
			平成 30 年度	令和元年度 (平成 31 年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
1	豊川（イ）	吉田大橋	0.0007	0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
2		当古橋	—	—	—	—	—
3	朝倉川	境橋	—	—	—	—	—
4	神田川	神田川橋	—	—	—	—	—
5	柳生川	市場橋	—	—	—	—	—
6		上富田橋	—	—	—	—	—
7		下立合橋 <sup>注5)</sup>	0.010	0.015	0.0031	0.0056	0.011
8	梅田川	植田橋	—	—	—	—	—
9		御厩橋	0.0045	0.0043	0.0036	0.0035	0.0034
10		飛越橋	—	—	—	—	—
11	浜田川	佐久良橋	—	—	—	—	—

注1) 地点番号は図4-1-14に対応する。

注2) 年平均値を示す。

注3) 単位は、mg/Lである。

注4) 表中の「—」は、測定が行われていないまたは公表されていないことを示す。

注5) 下立合橋の令和2年度以前は、柳生橋のデータを示す。

出典：「2022年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2021年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2020年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2019年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2018年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

表 4-1-27(1) 水質（河川・全窒素）の経年変化

No.	水域名	調査地点	年 度				
			平成 30 年度	令和元年度 (平成 31 年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
1	豊川下流	吉田大橋	1.2	1.2	1.3	1.1	1.0
2	豊川中流	当古橋	1.0	0.95	1.1	0.99	0.96
3	朝倉川	境橋	2.2	2.5	3.5	2.8	2.1
4	神田川	神田川橋	1.4	1.5	1.4	1.4	1.3
5	柳生川	市場橋	2.4	2.8	2.9	3.3	—
6		上富田橋	2.9	3.2	2.9	3.0	—
7		下立合橋 <sup>注5)</sup>	3.0	3.3	3.1	3.9	3.2
8	梅田川	植田橋	4.8	6.2	5.4	5.7	6.3
9		御厩橋	7.6	7.5	7.6	9.1	7.3
10		飛越橋	6.3	6.2	5.5	6.7	6.5
11	浜田川	佐久良橋	6.8	10	11	8.7	8.2

注1) 地点番号は図4-1-14に対応する。

注2) 年平均値を示す。

注3) 単位は、mg/Lである。

注4) 表中の「—」は、測定が行われていないまたは公表されていないことを示す。

注5) 下立合橋の令和2年度以前は、柳生橋のデータを示す。

出典：「2022年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2021年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2020年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2019年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2018年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

表 4-1-27(2) 水質（河川・全磷）の経年変化

No.	水域名	調査地点	年 度				
			平成 30 年度	令和元年度 (平成 31 年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
1	豊川下流	吉田大橋	0.047	0.049	0.051	0.038	0.032
2	豊川中流	当古橋	0.027	0.024	0.024	0.019	0.022
3	朝倉川	境橋	0.26	0.078	0.27	0.26	0.25
4	神田川	神田川橋	0.10	0.082	0.13	0.097	0.10
5	柳生川	市場橋	0.33	0.29	0.28	0.26	—
6		上富田橋	0.41	0.39	0.40	0.30	—
7		下立合橋 <sup>注3)</sup>	0.33	0.33	0.34	0.40	0.32
8	梅田川	植田橋	0.50	0.53	0.50	0.43	0.50
9		御厩橋	0.48	0.48	0.49	0.50	0.51
10		飛越橋	0.63	0.69	0.94	0.77	1.1
11	浜田川	佐久良橋	0.79	1.1	0.78	0.70	0.55

注1) 地点番号は図4-1-14に対応する。

注2) 年平均値を示す。

注3) 単位は、mg/Lである。

注4) 表中の「—」は、測定が行われていないまたは公表されていないことを示す。

注5) 下立合橋の令和2年度以前は、柳生橋のデータを示す。

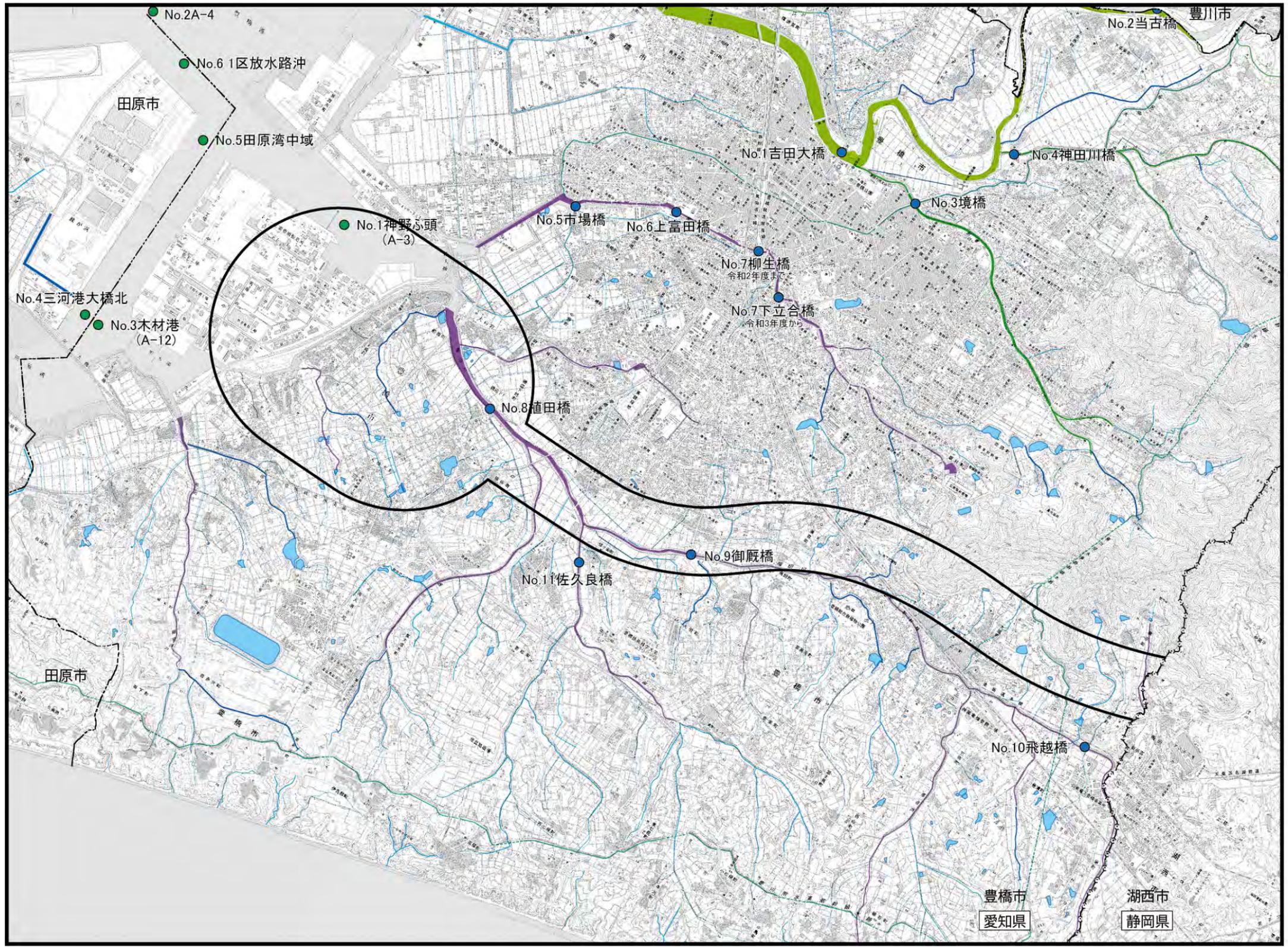
出典：「2022年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2021年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

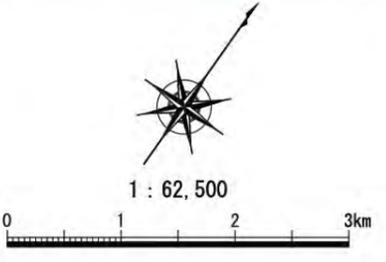
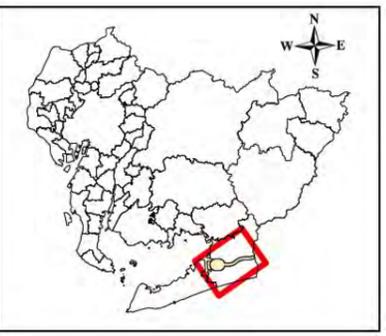
「2020年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2019年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2018年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）



- 凡 例
- : 都市計画対象道路  
事業実施区域
  - : 県境
  - : 市町村界
  - : 河川の水質調査地点
  - : 海域の水質調査地点
  - : 一級河川 (直轄)
  - : 一級河川 (県管理)
  - : 二級河川
  - : 準用河川
  - : その他の河川
  - : 普通河川
  - : 幹線水路
  - : 幹線水路 (管渠)
  - : 用水路
  - : ため池



出典：「2022年度公共用水域の水質等調査結果」(愛知県 水大気環境課)  
「2021年度公共用水域の水質等調査結果」(愛知県 水大気環境課)

図 4-1-14 水質調査地点位置図

## ② 健康項目

調査区域における令和4年度の公共用水域水質（健康項目）調査は8地点で行われており、調査地点は前掲の図4-1-14に、調査結果は表4-1-28に示すとおりです。

調査結果は、すべての調査地点において環境基準を達成しています。

表4-1-28(1) 水質（河川・健康項目）測定結果（令和4年度）

No.		1	3	4	環境基準	環境基準 達成状況
水域名		豊川下流	朝倉川	神田川		達成・非達成
調査地点		吉田大橋	境橋	神田川橋		
カドミウム	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.003 mg/L 以下	○
全シアン	(mg/L)	ND	ND	ND	検出されないこと	
鉛	(mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	0.01 mg/L 以下	
六価クロム	(mg/L)	<0.01	<0.01	<0.01	0.02 mg/L 以下	
砒素	(mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	0.01 mg/L 以下	
総水銀	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005 mg/L 以下	
アルキル水銀	(mg/L)	—	—	—	検出されないこと	
PCB	(mg/L)	ND	—	—	検出されないこと	○ (No.1) — (No.2, No.3)
ジクロロメタン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 mg/L 以下	○
四塩化炭素	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 mg/L 以下	
1,2-ジクロロエタン	(mg/L)	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004 mg/L 以下	
1,1-ジクロロエチレン	(mg/L)	<0.01	<0.01	<0.01	0.1 mg/L 以下	
シス-1,2-ジクロロエチレン	(mg/L)	<0.004	<0.004	<0.004	0.04 mg/L 以下	
1,1,1-トリクロロエタン	(mg/L)	<0.1	<0.1	<0.1	1 mg/L 以下	
1,1,2-トリクロロエタン	(mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 mg/L 以下	
トリクロロエチレン	(mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 mg/L 以下	
テトラクロロエチレン	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.01 mg/L 以下	
1,3-ジクロロプロペン	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 mg/L 以下	
チウラム	(mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 mg/L 以下	
シマジン	(mg/L)	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003 mg/L 以下	
チオベンカルブ	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 mg/L 以下	
ベンゼン	(mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 mg/L 以下	
セレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.01 mg/L 以下	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	(mg/L)	0.92	1.6	1.1	10 mg/L 以下	
ふっ素	(mg/L)	—	<0.08	<0.08	0.8 mg/L 以下	
ほう素	(mg/L)	—	<0.02	<0.02	1 mg/L 以下	
1,4-ジオキサン	(mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	0.05 mg/L 以下	

注1) 地点番号は図4-1-14に対応する。

注2) 「検出されないこと」とは、全シアンは0.1 mg/L 未満、アルキル水銀及びPCBは0.0005 mg/L 未満である。

注3) 全シアン、PCBは年最大値を、その他の項目は年平均値を示す。

注4) 表中の「ND」は、報告下限値未満であることを示す。

注5) 表中の「—」は、測定が行われていないことを示す。

出典：「2022年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

表 4-1-28(2) 水質（河川・健康項目）測定結果（令和4年度）

No.		7	8	環境基準	環境基準 達成状況
水域名		柳生川	梅田川		達成・非達成
調査地点		下立合橋	植田橋		
カドミウム	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	0.003 mg/L 以下	○
全シアン	(mg/L)	ND	ND	検出されないこと	
鉛	(mg/L)	<0.005	<0.005	0.01 mg/L 以下	
六価クロム	(mg/L)	<0.01	<0.01	0.02 mg/L 以下	
砒素	(mg/L)	<0.005	<0.005	0.01 mg/L 以下	
総水銀	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	0.0005 mg/L 以下	
アルキル水銀	(mg/L)	—	—	検出されないこと	
PCB	(mg/L)	ND	—	検出されないこと	○ (No.6) — (No.7)
ジクロロメタン	(mg/L)	<0.002	<0.002	0.02 mg/L 以下	○
四塩化炭素	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	0.002 mg/L 以下	
1,2-ジクロロエタン	(mg/L)	<0.0004	<0.0004	0.004 mg/L 以下	
1,1-ジクロロエチレン	(mg/L)	<0.01	<0.01	0.1 mg/L 以下	
シス-1,2-ジクロロエチレン	(mg/L)	<0.004	<0.004	0.04 mg/L 以下	
1,1,1-トリクロロエタン	(mg/L)	<0.1	<0.1	1 mg/L 以下	
1,1,2-トリクロロエタン	(mg/L)	<0.0006	<0.0006	0.006 mg/L 以下	
トリクロロエチレン	(mg/L)	<0.001	<0.001	0.01 mg/L 以下	
テトラクロロエチレン	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	0.01 mg/L 以下	
1,3-ジクロロプロペン	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	0.002 mg/L 以下	
チウラム	(mg/L)	<0.0006	<0.0006	0.006 mg/L 以下	
シマジン	(mg/L)	<0.0003	<0.0003	0.003 mg/L 以下	
チオベンカルブ	(mg/L)	<0.002	<0.002	0.02 mg/L 以下	
ベンゼン	(mg/L)	<0.001	<0.001	0.01 mg/L 以下	
セレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	0.01 mg/L 以下	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	(mg/L)	1.8	4.9	10 mg/L 以下	
ふっ素	(mg/L)	0.09	—	0.8 mg/L 以下	
ほう素	(mg/L)	0.03	—	1 mg/L 以下	
1,4-ジオキサン	(mg/L)	<0.005	<0.005	0.05 mg/L 以下	

注1) 地点番号は図4-1-14に対応する。

注2) 「検出されないこと」とは、全シアンは0.1 mg/L 未満、アルキル水銀及び PCB は0.0005 mg/L 未満である。

注3) 全シアン PCB は年最大値を、その他の項目は年平均値を示す。

注4) 表中の「ND」は、報告下限値未満であることを示す。

注5) 表中の「—」は、測定が行われていないことを示す。

出典：「2022年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

表 4-1-28(3) 水質（河川・健康項目）測定結果（令和4年度）

No.		9	10	11	環境基準	環境基準 達成状況
水域名		梅田川	梅田川	浜田川		達成・非達成
調査地点		御厩橋	飛越橋	佐久良橋		
カドミウム	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.003 mg/L 以下	○
全シアン	(mg/L)	ND	ND	ND	検出されないこと	
鉛	(mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	0.01 mg/L 以下	
六価クロム	(mg/L)	<0.01	<0.01	<0.01	0.02 mg/L 以下	
砒素	(mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	0.01 mg/L 以下	
総水銀	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005 mg/L 以下	
アルキル水銀	(mg/L)	—	—	—	検出されないこと	—
PCB	(mg/L)	ND	ND	—	検出されないこと	○ (No.8, No.9) — (No.10)
ジクロロメタン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 mg/L 以下	○
四塩化炭素	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 mg/L 以下	
1,2-ジクロロエタン	(mg/L)	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004 mg/L 以下	
1,1-ジクロロエチレン	(mg/L)	<0.01	<0.01	<0.01	0.1 mg/L 以下	
シス-1,2-ジクロロエチレン	(mg/L)	<0.004	<0.004	<0.004	0.04 mg/L 以下	
1,1,1-トリクロロエタン	(mg/L)	<0.1	<0.1	<0.1	1 mg/L 以下	
1,1,2-トリクロロエタン	(mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 mg/L 以下	
トリクロロエチレン	(mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 mg/L 以下	
テトラクロロエチレン	(mg/L)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.01 mg/L 以下	
1,3-ジクロロプロペン	(mg/L)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 mg/L 以下	
チウラム	(mg/L)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 mg/L 以下	
シマジン	(mg/L)	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003 mg/L 以下	
チオベンカルブ	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 mg/L 以下	
ベンゼン	(mg/L)	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 mg/L 以下	
セレン	(mg/L)	<0.002	<0.002	<0.002	0.01 mg/L 以下	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	(mg/L)	5.2	2.8	7.3	10 mg/L 以下	
ふっ素	(mg/L)	0.10	0.10	0.09	0.8 mg/L 以下	
ほう素	(mg/L)	0.02	0.02	0.03	1 mg/L 以下	
1,4-ジオキサン	(mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	0.05 mg/L 以下	

注1) 地点番号は図4-1-14に対応する。

注2) 「検出されないこと」とは、全シアンは0.1 mg/L 未満、アルキル水銀及びPCBは0.0005 mg/L 未満である。

注3) 全シアン、PCBは年最大値を、その他の項目は年平均値を示す。

注4) 表中の「ND」は、報告下限値未満であることを示す。

注5) 表中の「—」は、測定が行われていないことを示す。

出典：「2022年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

### ③ ダイオキシン類

調査区域における令和4年度の公共用水域水質（ダイオキシン類）調査地点は図4-1-15に、調査結果は表4-1-29に示すとおりです。また、過去5年間の調査結果の推移は表4-1-30に示すとおりです。

調査結果は、すべての地点で環境基準を達成しています。

表4-1-29 水質（河川・ダイオキシン類）測定結果（令和4年度）

No.	河川	調査地点	調査結果		環境基準	環境基準 達成状況
			(pg-TEQ/L)		(pg-TEQ/L)	達成・非達成
1	梅田川	御厩橋	0.21		1	○
9	山中川	本興寺橋	0.89			○
11	内山川	上庄池出口	0.7			○
12		黒福橋	1.6	0.95		○
	0.29					

注1) 地点番号は図4-1-15に対応する。

注2) 複数回調査している地点にあっては、調査結果は平均値に併せて左に各測定結果を示す。

出典：「令和4年度ダイオキシン類に係る環境調査結果」（豊橋市 環境部環境保全課、廃棄物対策課）

表4-1-30 水質（河川・ダイオキシン類）調査結果の経年変化

単位：pg-TEQ/L

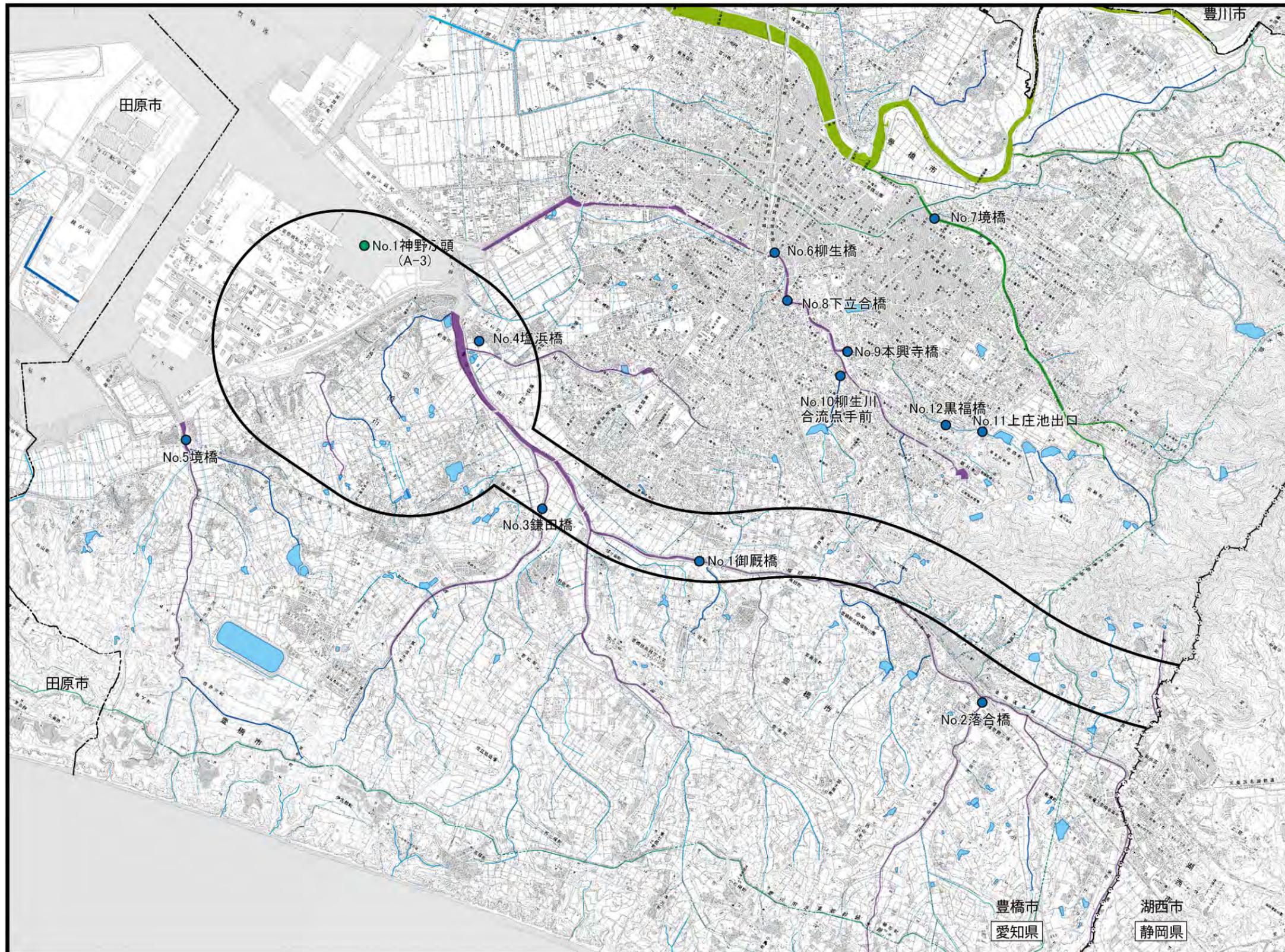
No.	河川	調査地点	年度				
			平成30年度	令和元年度 (平成31年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1	梅田川	御厩橋	0.22	0.34	0.40	0.24	0.21
2	落合川	落合橋	0.32	—	—	—	—
3	西の川	鎌田橋	0.29	—	—	—	—
4	内張川	塩浜橋	—	0.083	—	—	—
5	紙田川	境橋	—	0.37	—	—	—
6	柳生川	柳生橋	—	—	1.0	—	—
7	朝倉川	境橋	—	—	0.15	—	—
8	柳生川	下立合橋	—	—	—	0.28	—
9	山中川	本興寺橋	—	—	—	0.82	0.89
10	殿田川	柳生川 合流点手前	—	—	—	0.079	—
11	内山川	上庄池出口	—	—	—	—	0.7
12		黒福橋	—	—	—	—	1.6
	0.29						

注1) 地点番号は図4-1-15に対応する。

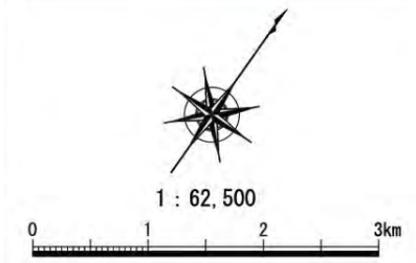
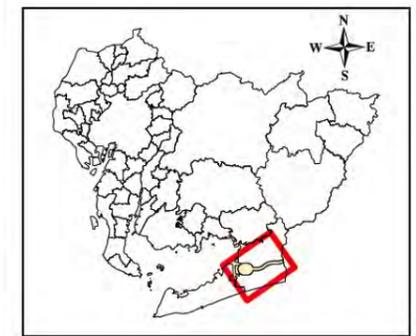
注2) 表中の「—」は、測定が行われていないまたは公表されていないことを示す。

注3) 複数回調査している地点にあっては、調査結果は平均値に併せて左に各測定結果を示す。

出典：「令和4年度ダイオキシン類に係る環境調査結果」（豊橋市 環境部環境保全課、廃棄物対策課）



- 凡 例
- : 都市計画対象道路事業実施区域
  - : 県境
  - : 市町村界
  - : 河川のダイオキシン類調査地点
  - : 海域のダイオキシン類調査地点
  - : 一級河川 (直轄)
  - : 一級河川 (県管理)
  - : 二級河川
  - : 準用河川
  - : その他の河川
  - : 普通河川
  - : 幹線水路
  - : 幹線水路 (管渠)
  - : 用水路
  - : ため池



出典：「令和4年度ダイオキシン類に係る環境調査結果」(豊橋市 環境部環境保全課、廃棄物対策課)  
 「令和3年度ダイオキシン類に係る環境調査結果」(豊橋市 環境部環境保全課、廃棄物対策課)  
 「令和2年度ダイオキシン類に係る環境調査結果」(豊橋市 環境部環境保全課、廃棄物対策課)  
 「令和元年度ダイオキシン類に係る環境調査結果」(豊橋市 環境部環境保全課、廃棄物対策課)  
 「平成30年度ダイオキシン類に係る調査結果」(豊橋市 環境部環境保全課、廃棄物対策課)

図 4-1-15 ダイオキシン類調査地点位置図

## 2) 湖沼及び海域

調査区域には湖沼が存在しないため、海域についてのみ記述します。

### ① 生活環境項目

調査区域における令和4年度の公共用水域水質（生活環境項目）調査地点は前掲の図4-1-14に、調査結果は表4-1-31(1)～(3)に示すとおりです。また、過去5年間の調査結果の推移は、表4-1-32、表4-1-33(1)～(2)に示すとおりです。

調査区域の海域には、海域の類型区分の指定がされています。令和4年度の測定結果では、全ての測定地点において、COD、全窒素、全磷の環境基準を達成しています。

表 4-1-31 (1) 水質（海域・生活環境項目）調査結果（令和4年度）

No.	水域名	測定地点	類型 (海域)	COD (mg/L)	環境基準 達成状況
1	神野・田原地先海域	神野ふ頭 (A-3)	C	5.2	○
2		(A-4)		4.5	
3		木材港 (A-12)		4.7	
4		三河港大橋北		5.5	
5		田原湾中域		5.0	
6		1区放水路沖		4.1	
環境基準			A	2以下	/
			B	3以下	
			C	8以下	

注1) 地点番号は図4-1-14に対応する。

注2) CODは年間75%水質値を示す。

注3) 海域におけるCODについては、水域内のすべての環境基準点において、75%水質値が環境基準に適合している場合を達成しているものとしている。

出典：「令和4年度大気環境及び水環境に係る調査結果」（豊橋市 環境部 環境保全課）

「2022年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2023 環境に関する報告書（令和4年度の環境状況）」（田原市）

表 4-1-31 (2) 水質（海域・全窒素・全磷）調査結果（令和 4 年度）

No.	水域名	測定地点	類型 (海域)	全窒素	全磷	環境基準 達成状況	
				(mg/L)	(mg/L)	全窒素	全磷
1	三河湾（口）	神野ふ頭（A-3）	Ⅲ	3.0	0.24	○	○
2		（A-4）		0.49	0.070		
3		木材港（A-12）		1.5	0.22		
4		三河港大橋北		0.53	0.108		
5		田原湾中域		0.37	0.074		
6		1区放水路沖		0.38	0.065		
環境基準			Ⅰ	0.2 以下	0.02 以下		
			Ⅱ	0.3 以下	0.03 以下		
			Ⅲ	0.6 以下	0.05 以下		
			Ⅳ	1 以下	0.09 以下		

注1) 地点番号は図4-1-14に対応する。

注2) 表層の年平均値を示す。

注3) 海域における全窒素及び全磷については、水域内の各環境基準点における表層の年間平均値を、当該水域内のすべての環境基準点において平均した値が環境基準に適合している場合を達成しているものとしている。

出典：「令和4年度大気環境及び水環境に係る調査結果」（豊橋市 環境部 環境保全課）

「2023 環境に関する報告書（令和4年度の環境状況）」（田原市）

表 4-1-31 (3) 水質（海域・水生生物の保全に係る環境基準項目）調査結果（令和 4 年度）

No.	水域名	測定地点	類型 (海域)	全亜鉛	ノニフ ェノ ール	LAS	環境基準 達成状況		
				(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	全亜鉛	ノニフ ェノ ール	LAS
1	三河湾 (ニ)	神野ふ頭（A-3）	生物 A	0.007	<0.00006	<0.0006	○	○	○
2		（A-4）		0.004	<0.00006	<0.0006			
3	三河湾 (ホ)	木材港（A-12）	生物特 A	0.001	<0.00006	<0.0006	○	○	○
環境基準			生物 A	0.02 以下	0.001 以下	0.01 以下			
			生物特 A	0.01 以下	0.0007 以下	0.006 以下			

注1) 地点番号は図4-1-14に対応する。

注2) 表層の年平均値を示す。

注3) 海域における全亜鉛、ノニルフェノール及びLASについては、水域内のすべての環境基準点において、年間平均値が環境基準に適合している場合を達成しているものとしている。

出典：「令和4年度大気環境及び水環境に係る調査結果」（豊橋市 環境部 環境保全課）

表 4-1-32 水質（海域・生活環境項目：COD）の経年変化

単位：mg/L

No.	水域名	調査地点	年度				
			平成 30 年度	令和元年度 (平成 31 年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
1	神野・田原地先海域	神野ふ頭 (A-3)	4.8	4.3	5.3	5.6	5.2
2		(A-4)	4.8	4.0	3.8	5.0	4.5
3		木材港 (A-12)	3.4	3.5	4.5	4.4	4.7
4		三河港大橋北	5.3	4.7	4.7	6.4	5.5
5		田原湾中域	4.2	4.8	5.5	4.4	5.0
6		1区放水路沖	5.9	5.2	4.8	4.0	4.1

注1) 地点番号は図4-1-14に対応する。

注2) 年間75%水質値を示す。

出典：「令和4年度大気環境及び水環境に係る調査結果」（豊橋市 環境部 環境保全課）

「2022年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

「2023 環境に関する報告書（令和4年度の環境状況）」（田原市）

表 4-1-33 (1) 水質（海域・全窒素）の経年変化

単位：mg/L

No.	水域名	調査地点	年度				
			平成 30 年度	令和元年度 (平成 31 年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
1	三河湾（口）	神野ふ頭（A-3）	3.1	2.9	2.2	3.1	3.0
2		（A-4）	0.53	0.68	0.51	0.56	0.49
3		木材港（A-12）	0.87	0.97	0.98	1.3	1.5
4		三河港大橋北	0.30	0.65	1.39	1.03	0.53
5		田原湾中域	0.17	0.49	0.85	0.43	0.37
6		1区放水路沖	0.24	0.38	0.80	0.44	0.38

注1) 地点番号は図4-1-14に対応する。

注2) 年平均値を示す。

出典：「令和4年度大気環境及び水環境に係る調査結果」（豊橋市 環境部 環境保全課）  
 「2022年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）  
 「2023 環境に関する報告書（令和4年度の環境状況）」（田原市）  
 「2022 環境に関する報告書（令和3年度の環境状況）」（田原市）  
 「2021 環境に関する報告書（令和2年度の環境状況）」（田原市）  
 「2020 環境に関する報告書（令和元年度の環境状況）」（田原市）  
 「2019 環境に関する報告書（平成30年度の環境状況）」（田原市）

表 4-1-33 (2) 水質（海域・全磷）の経年変化

単位：mg/L

No.	水域名	調査地点	年度				
			平成 30 年度	令和元年度 (平成 31 年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
1	三河湾（口）	神野ふ頭（A-3）	0.24	0.28	0.26	0.25	0.24
2		（A-4）	0.066	0.075	0.057	0.066	0.07
3		木材港（A-12）	0.14	0.14	0.14	0.18	0.22
4		三河港大橋北	0.138	0.134	0.124	0.145	0.108
5		田原湾中域	0.10	0.113	0.062	0.079	0.074
6		1区放水路沖	0.072	0.069	0.058	0.067	0.065

注1) 地点番号は図4-1-14に対応する。

注2) 年平均値を示す。

出典：「令和4年度大気環境及び水環境に係る調査結果」（豊橋市 環境部 環境保全課）  
 「2022年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）  
 「2023 環境に関する報告書（令和4年度の環境状況）」（田原市）  
 「2022 環境に関する報告書（令和3年度の環境状況）」（田原市）  
 「2021 環境に関する報告書（令和2年度の環境状況）」（田原市）  
 「2020 環境に関する報告書（令和元年度の環境状況）」（田原市）  
 「2019 環境に関する報告書（平成30年度の環境状況）」（田原市）

## ② 健康項目

調査区域における令和4年度の公共用水域水質（健康項目）調査地点は前掲の図4-1-14に、調査結果は表4-1-34に示すとおりです。

海域の測定地点では、環境基準を達成しています。

表4-1-34 水質（海域・健康項目）測定結果（令和4年度）

No.	1	2	3	環境基準	環境基準達成状況
市町村名	豊橋市				
水域名	神野・田原地先海域				
調査地点	神野ふ頭 (A-3)	A-4	木材港 (A-12)		
カドミウム	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.003 mg/L 以下
全シアン	mg/L	ND	ND	ND	検出されないこと
鉛	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	0.01 mg/L 以下
六価クロム	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	0.02 mg/L 以下
砒素	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	0.01 mg/L 以下
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005 mg/L 以下
アルキル水銀	mg/L	-	-	-	検出されないこと
PCB	mg/L	ND	-	-	検出されないこと
ジクロロメタン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	0.02 mg/L 以下
四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 mg/L 以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004 mg/L 以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	0.1 mg/L 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.004	<0.004	<0.004	0.04 mg/L 以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	1 mg/L 以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006 mg/L 以下
トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 mg/L 以下
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.01 mg/L 以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002 mg/L 以下
チウラム	mg/L	<0.0006	<0.0006	-	0.006 mg/L 以下
シマジン	mg/L	<0.0003	<0.0003	-	0.003 mg/L 以下
チオベンカルブ	mg/L	<0.002	<0.002	-	0.02 mg/L 以下
ベンゼン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 mg/L 以下
セレン	mg/L	<0.002	<0.002	-	0.01 mg/L 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	-	-	-	10 mg/L 以下
ふっ素	mg/L	-	-	-	-
ほう素	mg/L	-	-	-	-
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	0.05 mg/L 以下

○

注1) 地点番号は図4-1-14に対応する。

注2) 「検出されないこと」とは、全シアンは0.1 mg/L 未満、アルキル水銀及びPCBは0.0005 mg/L 未満である。

注3) 全シアン、ジクロロメタンは年最大値を、その他の項目は全層の年平均値を示す。

注4) 表中の「ND」は、報告下限値未満であることを示す。

注5) 表中の「-」は、測定が行われていないまたは公表されていないことを示す。

出典：「令和4年度大気環境及び水環境調査結果」（豊橋市 環境部 環境保全課）

「2022年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

### ③ ダイオキシン類

調査区域における令和4年度の公共用水域水質（ダイオキシン類）調査地点は前掲の図4-1-15に、調査結果は表4-1-35に示すとおりです。また、過去5年間の調査結果の推移は表4-1-36に示すとおりです。

調査結果は、1地点で環境基準を達成しています。

**表 4-1-35 水質（海域・ダイオキシン類）測定結果（令和4年度）**

No.	海域	調査地点	調査結果	環境基準	環境基準 達成状況
			(pg-TEQ/L)	(pg-TEQ/L)	達成・非達成
1	神野・田原地先海域	神野ふ頭 (A-3)	0.068	1	○

注1) 地点番号は図4-1-15に対応する。

出典：「令和4年度ダイオキシン類に係る環境調査結果」（豊橋市 環境部環境保全課、廃棄物対策課）

**表 4-1-36 水質（海域・ダイオキシン類）測定結果の経年変化**

単位：pg-TEQ/L

No.	海域	調査地点	年度				
			平成30年度	令和元年度 (平成31年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1	神野・田原地先海域	神野ふ頭 (A-3)	0.083	0.064	0.14	0.075	0.068

注1) 地点番号は図4-1-15に対応する。

出典：「令和4年度ダイオキシン類に係る環境調査結果」（豊橋市 環境部環境保全課、廃棄物対策課）

### (3) 水底の底質

#### 1) 河川

##### ① 健康項目

調査区域における令和4年度の水底の底質（健康項目）調査は3地点で行われており、調査地点は前掲の図4-1-14に、調査結果は表4-1-37に示すとおりです。

表 4-1-37 水底の底質（河川・健康項目）測定結果（令和4年度）

No.		1	7	9
	河川名	豊川	柳生川	梅田川
	調査地点	吉田大橋	下立合橋	御厩橋
	カドミウム	(mg/kg) <0.05	0.30	0.28
	全シアン	(mg/kg) <0.5	<0.5	<0.5
	鉛	(mg/kg) 2.3	3.2	4.0
	砒素	(mg/kg) 1.6	<0.5	1.0
	総水銀	(mg/kg) 0.01	0.01	0.01
	アルキル水銀	(mg/kg) <0.01	<0.01	<0.01
	PCB	(mg/kg) <0.01	<0.01	<0.01

注1) 地点番号は図4-1-14に対応する。

出典：「2022年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

##### ② ダイオキシン類

調査区域の河川における令和4年度の水底の底質（ダイオキシン類）調査地点は前掲の図4-1-15に、調査結果は表4-1-38に示すとおりです。また、過去5年間の調査結果の推移は表4-1-39に示すとおりです。

調査結果は、全地点で環境基準を達成しています。

表 4-1-38 水底の底質（河川・ダイオキシン類）測定結果（令和4年度）

No.	河川	調査地点	調査結果	環境基準	環境基準達成状況
			(pg-TEQ/L)	(pg-TEQ/L)	達成・非達成
1	梅田川	御厩橋	0.42	150	○
9	山中川	本興寺橋	1.3		○
12	内山川	黒福橋	8.6		○

注1) 地点番号は図4-1-15に対応する。

出典：「令和4年度ダイオキシン類に係る環境調査結果」（豊橋市 環境部環境保全課、廃棄物対策課）

表 4-1-39 水底の底質（河川・ダイオキシン類）調査結果の経年変化

単位：pg-TEQ/L

No.	河川	調査地点	年度				
			平成 30 年度	令和元年度 (平成 31 年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
1	梅田川	御厩橋	0.45	0.60	1.4	0.32	0.42
2	落合川	落合橋	0.75	—	—	—	—
3	西の川	鎌田橋	0.35	—	—	—	—
4	内張川	塩浜橋	—	1.2	—	—	—
5	紙田川	境橋	—	1.0	—	—	—
6	柳生川	柳生橋	—	—	1.2	—	—
7	朝倉川	境橋	—	—	1.3	—	—
8	柳生川	下立合橋	—	—	—	0.27	—
9	山中川	本興寺橋	—	—	—	0.86	1.3
12	内山川	黒福橋	—	—	—	—	8.6

注1) 地点番号は図4-1-15に対応する。

注2) 表中の「—」は、測定が行われていないまたは公表されていないことを示す。

出典：「令和4年度ダイオキシン類に係る環境調査結果」（豊橋市 環境部環境保全課、廃棄物対策課）

## 2) 湖沼及び海域

調査区域には湖沼が存在しないため、海域についてのみ記述します。

### ① 健康項目

調査区域における令和4年度の水底の底質（健康項目）調査は3地点で行われており、調査地点は前掲の図4-1-14に、調査結果は表4-1-40に示すとおりです。

表 4-1-40 水底の底質（海域・健康項目）測定結果（令和4年度）

No.		1	2	3
河川名等		渥美湾	渥美湾	渥美湾
調査地点		A-3	A-4	A-12
カドミウム	(mg/kg)	0.33	0.27	0.13
全シアン	(mg/kg)	<0.5	<0.5	<0.5
鉛	(mg/kg)	32	17	17
砒素	(mg/kg)	7.8	11	5.6
総水銀	(mg/kg)	0.16	0.17	0.09
アルキル水銀	(mg/kg)	<0.01	<0.01	<0.01
PCB	(mg/kg)	<0.01	0.02	<0.01

注1) 地点番号は図4-1-14に対応する。

出典：「2022年度公共用水域の水質等調査結果」（愛知県 水大気環境課）

### ② ダイオキシン類

調査区域の海域における令和4年度の水底の底質（ダイオキシン類）調査地点は前掲の図4-1-15に、調査結果は表4-1-41に示すとおりです。また、過去5年間の調査結果の推移は表4-1-42に示すとおりです。

調査結果は、1地点で環境基準を達成しています。

表 4-1-41 水底の底質（海域・ダイオキシン類）測定結果（令和4年度）

No.	海域	調査地点	調査結果	環境基準	環境基準 達成状況
			(pg-TEQ/L)	(pg-TEQ/L)	達成・非達成
1	神野・田原地先海域	神野ふ頭 (A-3)	13	150	○

注1) 地点番号は図4-1-15に対応する。

出典：「令和4年度ダイオキシン類に係る環境調査結果」（豊橋市 環境部環境保全課、廃棄物対策課）

表 4-1-42 水底の底質（海域・ダイオキシン類）調査結果の経年変化

単位：pg-TEQ/L

No.	海域	調査地点	年度				
			平成30年度	令和元年度 (平成31年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1	神野・田原地先海域	神野ふ頭 (A-3)	13	13	12	13	13

注1) 地点番号は図4-1-15に対応する。

出典：「令和4年度ダイオキシン類に係る環境調査結果」（豊橋市 環境部環境保全課、廃棄物対策課）

#### (4) その他水に係る環境（地下水水質）

##### 1) 環境基準項目

調査区域における令和4年度の地下水水質調査地点は図4-1-16に、調査結果は表4-1-43(1)～(2)及び表4-1-44(1)～(4)に示すとおりです。

継続監視調査地点において硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素や六価クロム等の値が超過している地点があります。

表4-1-43(1) 地下水水質調査結果（概況調査：定点）（令和4年度）

No.		1	2	3	環境基準	環境基準 達成状況
市町村名		豊橋市	豊橋市	豊橋市		
地区名		向山 大池町	佐藤町	東赤沢町		達成 非達成
使用用途		その他	その他	その他		
カドミウム	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.003mg/L以下	○
全シアン	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	検出されないこと※2	
鉛	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/L以下	
六価クロム	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	0.02mg/L以下	
砒素	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/L以下	
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005mg/L以下	
アルキル水銀	mg/L	-	-	-	検出されないこと※2	-
PCB	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと※2	○
ジクロロメタン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	0.02mg/L以下	
四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/L以下	
クロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/L以下	
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004mg/L以下	
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	0.1mg/L以下	
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.004	<0.004	<0.004	0.04mg/L以下	
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1mg/L以下	
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006mg/L以下	
トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/L以下	
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.01mg/L以下	
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/L以下	
チウラム	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006mg/L以下	
シマジン	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/L以下	
チオベンカルブ	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	0.02mg/L以下	
ベンゼン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/L以下	
セレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	0.01mg/L以下	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	0.36	0.35	10	10mg/L以下	
ふっ素	mg/L	<0.08	<0.08	<0.08	0.8mg/L以下	
ほう素	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	1mg/L以下	
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	0.05mg/L以下	

注1) 地点番号は図4-1-16に対応する。

注2) 「検出されないこと」とは、全シアンは0.1 mg/L未満、アルキル水銀及びPCBは0.0005 mg/L未満である。

注3) 使用用途のその他とは、水道水源、一般飲用、生活用、工業用以外の用途

注4) 表中の「-」は、測定が行われていないまたは公表されていないことを示す。

出典：「地下水の水質調査 令和4年度調査結果」（愛知県環境局環境政策部水大気環境課）

表 4-1-43(2) 地下水水質調査結果（概況調査：メッシュ）（令和4年度）

No.		4	5	環境基準	環境基準 達成状況
調査地点メッシュ名		D13C	D03A		
市町村名		豊橋市	豊橋市		
調査地点		忠興三丁目	雲谷町		
使用用途		生活用水	その他		達成 非達成
カドミウム	mg/L	<0.0005	<0.0005	0.003mg/L 以下	○
全シアン	mg/L	<0.1	<0.1	検出されないこと <sup>※2</sup>	
鉛	mg/L	<0.005	<0.005	0.01mg/L 以下	
六価クロム	mg/L	<0.01	<0.01	0.02mg/L 以下	
砒素	mg/L	<0.005	<0.005	0.01mg/L 以下	
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	0.0005mg/L 以下	
アルキル水銀	mg/L	—	—	検出されないこと <sup>※2</sup>	—
PCB	mg/L	<0.0005	<0.0005	検出されないこと <sup>※2</sup>	○
ジクロロメタン	mg/L	<0.002	<0.002	0.02mg/L 以下	
四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	0.002mg/L 以下	
クロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	0.002mg/L 以下	
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	<0.0004	0.004mg/L 以下	
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.01	<0.01	0.1mg/L 以下	
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.004	<0.004	0.04mg/L 以下	
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0005	<0.0005	1mg/L 以下	
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006	<0.0006	0.006mg/L 以下	
トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	0.01mg/L 以下	
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	0.01mg/L 以下	
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0002	<0.0002	0.002mg/L 以下	
チウラム	mg/L	<0.0006	<0.0006	0.006mg/L 以下	
シマジン	mg/L	<0.0003	<0.0003	0.003mg/L 以下	
チオベンカルブ	mg/L	<0.002	<0.002	0.02mg/L 以下	
ベンゼン	mg/L	<0.001	<0.001	0.01mg/L 以下	
セレン	mg/L	<0.002	<0.002	0.01mg/L 以下	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	3.2	1.3	10mg/L 以下	
ふっ素	mg/L	<0.08	<0.08	0.8mg/L 以下	
ほう素	mg/L	<0.02	<0.02	1mg/L 以下	
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	0.05mg/L 以下	

注1) 地点番号は図4-1-16に対応する。

注2) 「検出されないこと」とは、全シアンは0.1 mg/L 未満、アルキル水銀及びPCBは0.0005 mg/L 未満である。

注3) 使用用途のその他とは、水道水源、一般飲用、生活用、工業用以外の用途

注4) 表中の「—」は、測定が行われていないまたは公表されていないことを示す。

出典：「地下水の水質調査 令和4年度調査結果」（愛知県環境局環境政策部水大気環境課）

表 4-1-44 (1) 地下水水質調査結果（定期モニタリング調査：継続監視）（令和 4 年度）

No.		6	7	環境基準	環境基準 達成状況
調査地点メッシュ名		D02B	D02B		
市町村名		豊橋市	豊橋市		
地区名		東赤沢町	老津町		
発端・周辺の区分		発端井戸	周辺井戸		
使用用途		その他	その他	達成 非達成	
カドミウム	mg/L	—	—	0.003mg/L 以下	—
全シアン	mg/L	—	—	検出されないこと <sup>※2</sup>	
鉛	mg/L	—	—	0.01mg/L 以下	
六価クロム	mg/L	—	—	0.02mg/L 以下	
砒素	mg/L	—	—	0.01mg/L 以下	
総水銀	mg/L	—	—	0.0005mg/L 以下	
アルキル水銀	mg/L	—	—	検出されないこと <sup>※2</sup>	
PCB	mg/L	—	—	検出されないこと <sup>※2</sup>	
ジクロロメタン	mg/L	—	—	0.02mg/L 以下	
四塩化炭素	mg/L	—	—	0.002mg/L 以下	
クロロエチレン	mg/L	—	—	0.002mg/L 以下	
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	0.004mg/L 以下	
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	0.1mg/L 以下	
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	0.04mg/L 以下	
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	1mg/L 以下	
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	0.006mg/L 以下	
トリクロロエチレン	mg/L	—	—	0.01mg/L 以下	
テトラクロロエチレン	mg/L	—	—	0.01mg/L 以下	
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	—	—	0.002mg/L 以下	
チウラム	mg/L	—	—	0.006mg/L 以下	
シマジン	mg/L	—	—	0.003mg/L 以下	
チオベンカルブ	mg/L	—	—	0.02mg/L 以下	
ベンゼン	mg/L	—	—	0.01mg/L 以下	
セレン	mg/L	—	—	0.01mg/L 以下	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	16	25	10mg/L 以下	×
ふっ素	mg/L	—	—	0.8mg/L 以下	—
ほう素	mg/L	—	—	1mg/L 以下	
1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	0.05mg/L 以下	

注1) 地点番号は図4-1-16に対応する。

注2) 「検出されないこと」とは、全シアンは0.1 mg/L 未満、アルキル水銀及び PCB は0.0005 mg/L 未満である。

注3) 使用用途のその他とは、水道水源、一般飲用、生活用、工業用以外の用途

注4) 表中の「—」は、測定が行われていないまたは公表されていないことを示す。

出典：「地下水の水質調査 令和 4 年度調査結果」（愛知県環境局環境政策部水大気環境課）

表 4-1-44 (2) 地下水水質調査結果（定期モニタリング調査：継続監視）（令和 4 年度）

No.		8	9	環境基準	環境基準 達成状況
調査地点メッシュ名		D03B	D02B		
市町村名		豊橋市	豊橋市		
地区名		大岩町	老津町		
発端・周辺の区分		発端井戸	発端井戸		
使用用途		工業用水	その他		達成 非達成
カドミウム	mg/L	—	—	0.003mg/L 以下	—
全シアン	mg/L	—	—	検出されないこと <sup>※2</sup>	
鉛	mg/L	—	—	0.01mg/L 以下	
六価クロム	mg/L	—	—	0.02mg/L 以下	
砒素	mg/L	—	—	0.01mg/L 以下	
総水銀	mg/L	—	—	0.0005mg/L 以下	
アルキル水銀	mg/L	—	—	検出されないこと <sup>※2</sup>	
PCB	mg/L	—	—	検出されないこと <sup>※2</sup>	
ジクロロメタン	mg/L	—	—	0.02mg/L 以下	
四塩化炭素	mg/L	—	—	0.002mg/L 以下	
クロロエチレン	mg/L	—	—	0.002mg/L 以下	
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	0.004mg/L 以下	
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	0.1mg/L 以下	
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	0.04mg/L 以下	
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	1mg/L 以下	
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	0.006mg/L 以下	
トリクロロエチレン	mg/L	—	—	0.01mg/L 以下	
テトラクロロエチレン	mg/L	—	—	0.01mg/L 以下	
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	—	—	0.002mg/L 以下	
チウラム	mg/L	—	—	0.006mg/L 以下	
シマジン	mg/L	—	—	0.003mg/L 以下	
チオベンカルブ	mg/L	—	—	0.02mg/L 以下	
ベンゼン	mg/L	—	—	0.01mg/L 以下	
セレン	mg/L	—	—	0.01mg/L 以下	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	11	37	10mg/L 以下	×
ふっ素	mg/L	—	—	0.8mg/L 以下	—
ほう素	mg/L	—	—	1mg/L 以下	
1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	0.05mg/L 以下	

注1) 地点番号は図4-1-16に対応する。

注2) 「検出されないこと」とは、全シアンは0.1 mg/L 未満、アルキル水銀及び PCB は0.0005 mg/L 未満である。

注3) 使用用途のその他とは、水道水源、一般飲用、生活用、工業用以外の用途

注4) 表中の「—」は、測定が行われていないまたは公表されていないことを示す。

出典：「地下水の水質調査 令和 4 年度調査結果」（愛知県環境局環境政策部水大気環境課）

表 4-1-44 (3) 地下水水質調査結果（定期モニタリング調査：継続監視）（令和 4 年度）

No.		10	11	環境基準	環境基準 達成状況	
調査地点メッシュ名		D02B	D03D			
市町村名		豊橋市	豊橋市			
地区名		老津町	柱七番町			
発端・周辺の区分		周辺井戸	周辺井戸			
使用用途		生活用水	生活用水		達成 非達成	
カドミウム	mg/L	—	—	0.003mg/L 以下	—	
全シアン	mg/L	—	—	検出されないこと <sup>※2</sup>		
鉛	mg/L	—	—	0.01mg/L 以下		
六価クロム	mg/L	—	—	0.02mg/L 以下		
砒素	mg/L	—	—	0.01mg/L 以下		
総水銀	mg/L	—	—	0.0005mg/L 以下		
アルキル水銀	mg/L	—	—	検出されないこと <sup>※2</sup>		
PCB	mg/L	—	—	検出されないこと <sup>※2</sup>		
ジクロロメタン	mg/L	—	—	0.02mg/L 以下		
四塩化炭素	mg/L	—	—	0.002mg/L 以下		
クロロエチレン	mg/L	—	<0.0002	0.002mg/L 以下		
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	0.004mg/L 以下		
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	<0.01	0.1mg/L 以下		
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	0.025	0.04mg/L 以下		
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	1mg/L 以下		
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	0.006mg/L 以下		
トリクロロエチレン	mg/L	—	0.003	0.01mg/L 以下		
テトラクロロエチレン	mg/L	—	0.15	0.01mg/L 以下		×
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	—	—	0.002mg/L 以下		—
チウラム	mg/L	—	—	0.006mg/L 以下		
シマジン	mg/L	—	—	0.003mg/L 以下		
チオベンカルブ	mg/L	—	—	0.02mg/L 以下		
ベンゼン	mg/L	—	—	0.01mg/L 以下		
セレン	mg/L	—	—	0.01mg/L 以下		
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	29	—	10mg/L 以下	×	
ふっ素	mg/L	—	—	0.8mg/L 以下	—	
ほう素	mg/L	—	—	1mg/L 以下		
1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	0.05mg/L 以下		

注1) 地点番号は図4-1-16に対応する。

注2) 「検出されないこと」とは、全シアンは0.1 mg/L 未満、アルキル水銀及びPCBは0.0005 mg/L 未満である。

注3) 使用用途のその他とは、水道水源、一般飲用、生活用、工業用以外の用途

注4) 表中の「—」は、測定が行われていないまたは公表されていないことを示す。

出典：「地下水の水質調査 令和 4 年度調査結果」（愛知県環境局環境政策部水大気環境課）

表 4-1-44 (4) 地下水水質調査結果（定期モニタリング調査：継続監視）（令和 4 年度）

No.	12	13	環境基準	環境基準 達成状況
調査地点メッシュ名	D03B	D03B		
市町村名	豊橋市	豊橋市		
地区名	細谷町	細谷町		
発端・周辺の区分	発端井戸	周辺井戸		
使用用途	その他	その他	達成 非達成	
カドミウム mg/L	—	—	0.003mg/L 以下	—
全シアン mg/L	—	—	検出されないこと <sup>※2</sup>	
鉛 mg/L	—	—	0.01mg/L 以下	
六価クロム mg/L	—	—	0.02mg/L 以下	
砒素 mg/L	—	—	0.01mg/L 以下	
総水銀 mg/L	—	—	0.0005mg/L 以下	
アルキル水銀 mg/L	—	—	検出されないこと <sup>※2</sup>	
PCB mg/L	—	—	検出されないこと <sup>※2</sup>	
ジクロロメタン mg/L	—	—	0.02mg/L 以下	
四塩化炭素 mg/L	—	—	0.002mg/L 以下	
クロロエチレン mg/L	—	—	0.002mg/L 以下	
1,2-ジクロロエタン mg/L	—	—	0.004mg/L 以下	
1,1-ジクロロエチレン mg/L	—	—	0.1mg/L 以下	
1,2-ジクロロエチレン mg/L	—	—	0.04mg/L 以下	
1,1,1-トリクロロエタン mg/L	—	—	1mg/L 以下	
1,1,2-トリクロロエタン mg/L	—	—	0.006mg/L 以下	
トリクロロエチレン mg/L	—	—	0.01mg/L 以下	
テトラクロロエチレン mg/L	—	—	0.01mg/L 以下	
1,3-ジクロロプロペン mg/L	—	—	0.002mg/L 以下	
チウラム mg/L	—	—	0.006mg/L 以下	
シマジン mg/L	—	—	0.003mg/L 以下	
チオベンカルブ mg/L	—	—	0.02mg/L 以下	
ベンゼン mg/L	—	—	0.01mg/L 以下	
セレン mg/L	—	—	0.01mg/L 以下	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 mg/L	20	13	10mg/L 以下	×
ふっ素 mg/L	—	—	0.8mg/L 以下	—
ほう素 mg/L	—	—	1mg/L 以下	
1,4-ジオキサン mg/L	—	—	0.05mg/L 以下	

注1) 地点番号は図4-1-16に対応する。

注2) 「検出されないこと」とは、全シアンは0.1 mg/L 未満、アルキル水銀及び PCB は0.0005 mg/L 未満である。

注3) 使用用途のその他とは、水道水源、一般飲用、生活用、工業用以外の用途

注4) 表中の「—」は、測定が行われていないまたは公表されていないことを示す。

出典：「地下水の水質調査 令和 4 年度調査結果」（愛知県環境局環境政策部水大気環境課）

## 2) ダイオキシン類

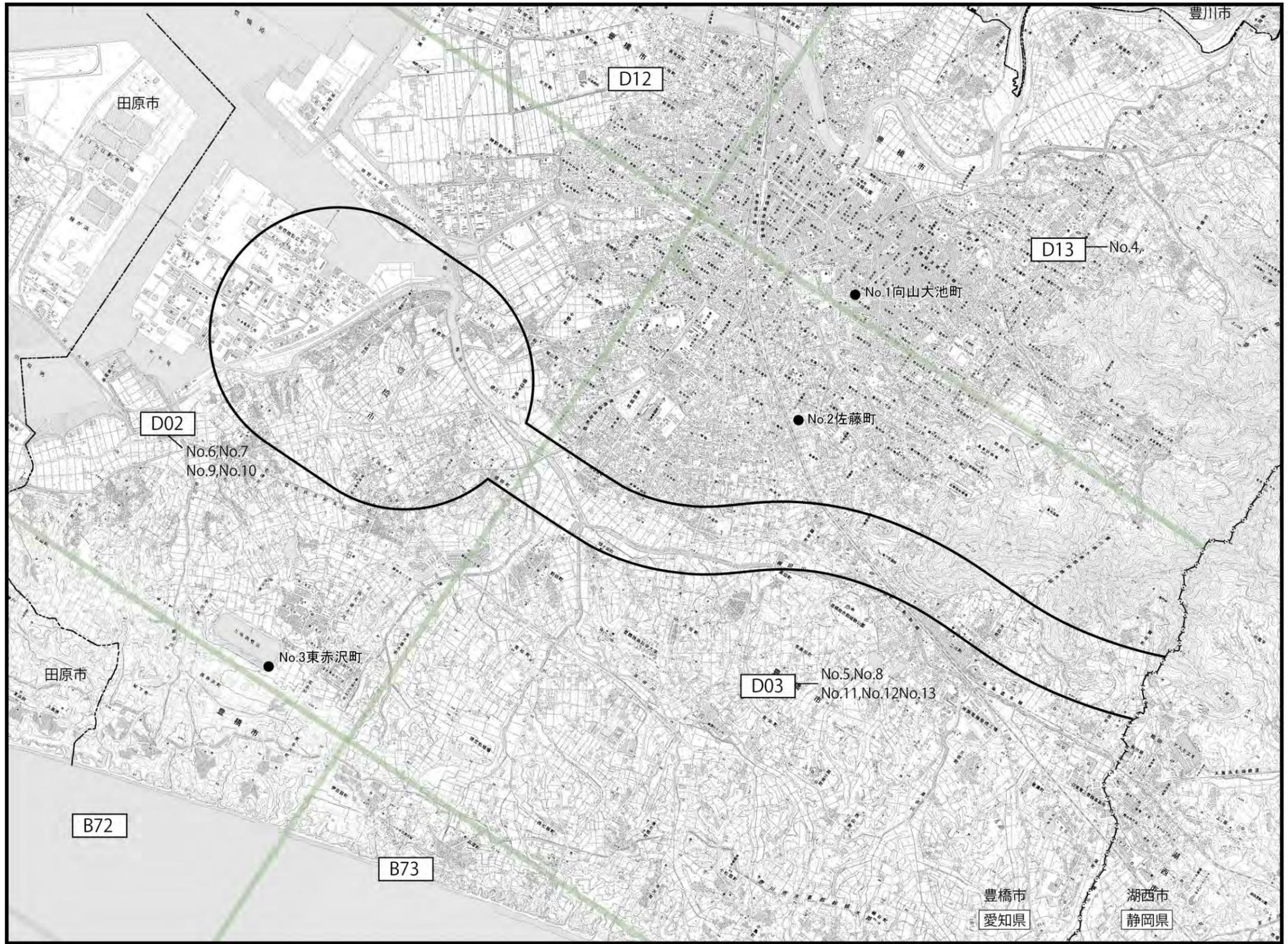
調査区域の地下水におけるダイオキシン類調査は、調査地点を毎年変えて実施されており、過去5年間の調査地点は図4-1-17に、調査結果は表4-1-45に示すとおりです。調査結果は、全地点で環境基準を達成しています。

表 4-1-45 地下水（ダイオキシン類）測定結果（平成30年度～令和4年度）

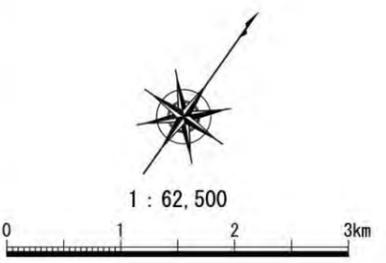
No.	調査地点	調査結果	環境基準	環境基準 達成状況	年度
		(pg-TEQ/L)	(pg-TEQ/L)	達成・非達成	
1	江島町	0.021	1	○	H30年度
2	雲谷町	0.021			令和元年度 (平成31年度)
3	岩屋町	0.022			令和2年度
4	若松町	0.022			令和3年度
5	牛川町	0.023			
6	大岩町	0.023			
7	忠興3丁目	0.022			
8	雲谷町	0.024			令和4年度

注1) 地点番号は図4-1-17に対応する。

出典：「令和4年度ダイオキシン類に係る環境調査結果」（豊橋市 環境部環境保全課、廃棄物対策課）  
「令和3年度ダイオキシン類に係る環境調査結果」（豊橋市 環境部環境保全課、廃棄物対策課）  
「令和2年度ダイオキシン類に係る環境調査結果」（豊橋市 環境部環境保全課、廃棄物対策課）  
「令和元年度ダイオキシン類に係る環境調査結果」（豊橋市 環境部環境保全課、廃棄物対策課）  
「2018年度のダイオキシン類に係る環境調査結果について」（愛知県）

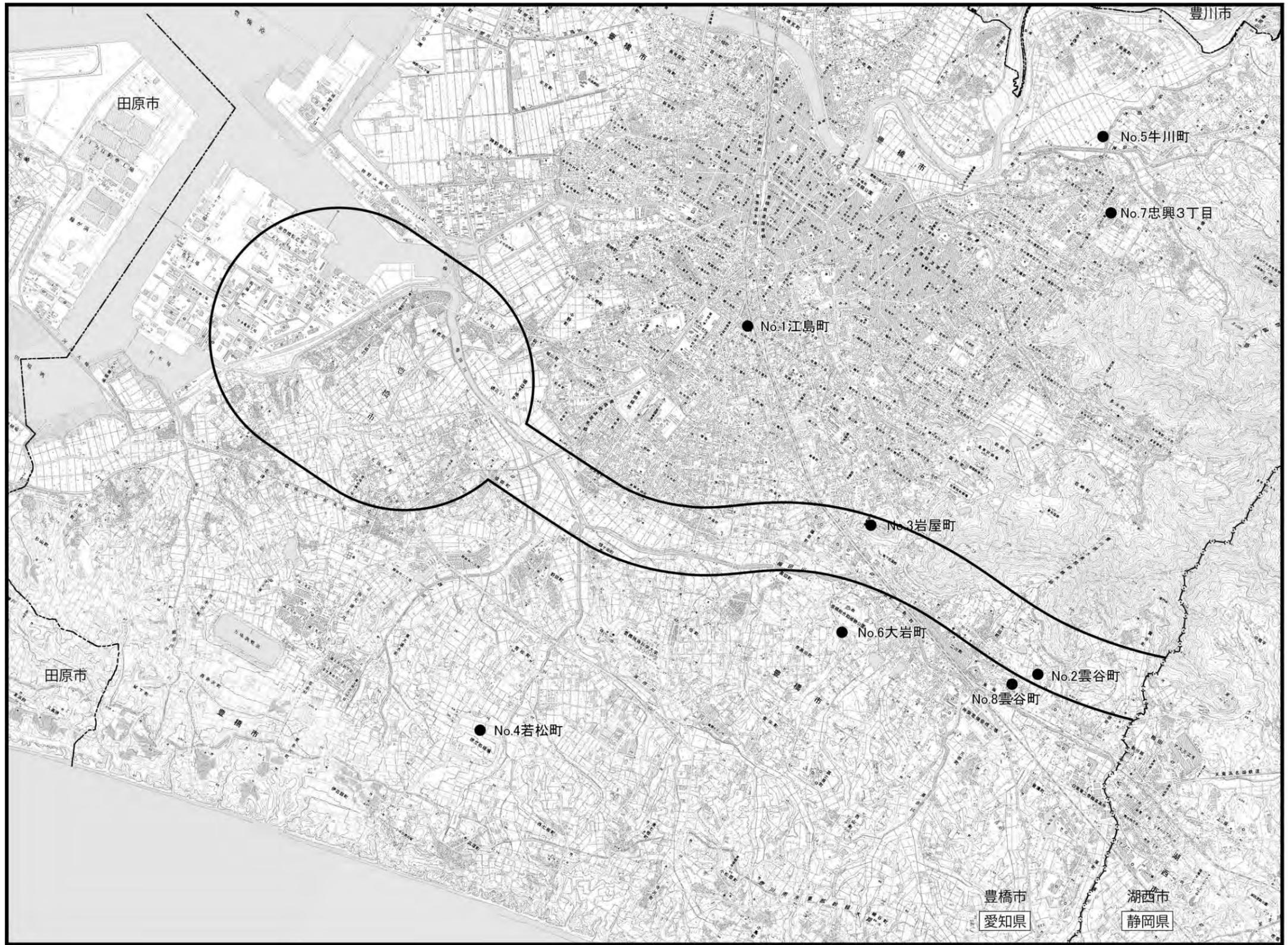


- 凡 例
- : 都市計画対象道路事業実施区域
  - : 県境
  - : 市町村界
  - : 地下水水質調査地点
  - : 地下水水質調査エリア

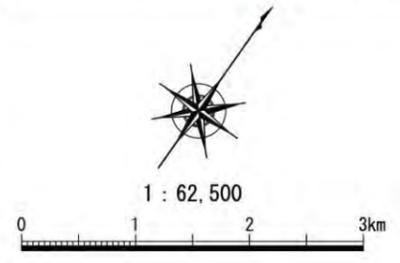
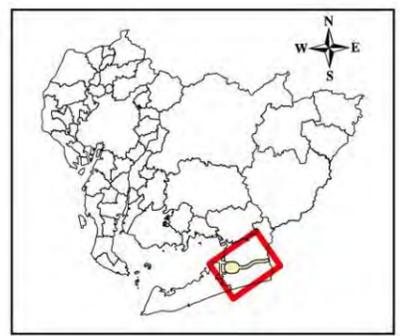


出典：「令和4年度大気環境及び水環境調査結果」（豊橋市 環境部 環境保全課）  
 「2022年度公共用水域及び地下水の水質等調査結果」（愛知県環境局環境政策部水大気環境課）

図 4-1-16 地下水水質調査地点位置図



- 凡 例
- : 都市計画対象道路事業実施区域
  - : 県境
  - : 市町村界
  - : 地下水ダイオキシン類調査地点



出典：「令和4年度ダイオキシン類に係る環境調査結果」（豊橋市 環境部環境保全課、廃棄物対策課）  
 「令和3年度ダイオキシン類に係る環境調査結果」（豊橋市 環境部環境保全課、廃棄物対策課）  
 「令和2年度ダイオキシン類に係る環境調査結果」（豊橋市 環境部環境保全課、廃棄物対策課）  
 「令和元年度ダイオキシン類に係る環境調査結果」（豊橋市 環境部環境保全課、廃棄物対策課）  
 「2018年度のダイオキシン類に係る環境調査結果について」（愛知県）

図 4-1-17 地下水水質調査地点位置図(ダイオキシン類)

### 1.3. 土壌及び地盤の状況

#### (1) 土壌の状況

##### 1) 土壌の区分及び分布状況

調査区域における土壌の状況は、図 4-1-18 に示すとおりです。

調査区域には、台地・低地部を中心として、赤色土壌、黄色土壌、灰色台地土壌、細粒グライ土壌、グライ土壌、灰色低地土壌等が分布しています。梅田川の下流部の低地では、一部、黒泥土壌が分布します。

##### 2) 土壌汚染の状況

調査区域における土壌中ダイオキシン類濃度の調査地点は図 4-1-19 に、調査結果は表 4-1-46 に示すとおりです。

令和 4 年度は 1 地点で調査が行われており、測定値は環境基準を達成しています。

また、調査区域には「農用地の土壌の汚染防止等に関する法律」に基づき指定された農用地土壌汚染対策地域はありません。

**表 4-1-46 土壌中ダイオキシン類濃度調査結果（令和 4 年度）**

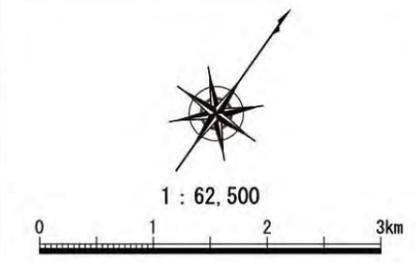
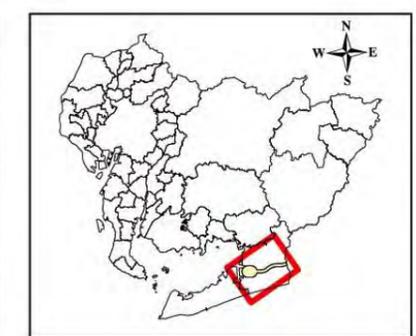
No.	測定地点	調査結果 (pg-TEQ/g)	環境基準 (pg-TEQ/g)
1	豊橋市植田町 蛤沢公園	6.4	1,000

注1) 地点番号は図4-1-19に対応する。

出典：「2022年度ダイオキシン類に係る環境調査結果について」（愛知県ホームページ）

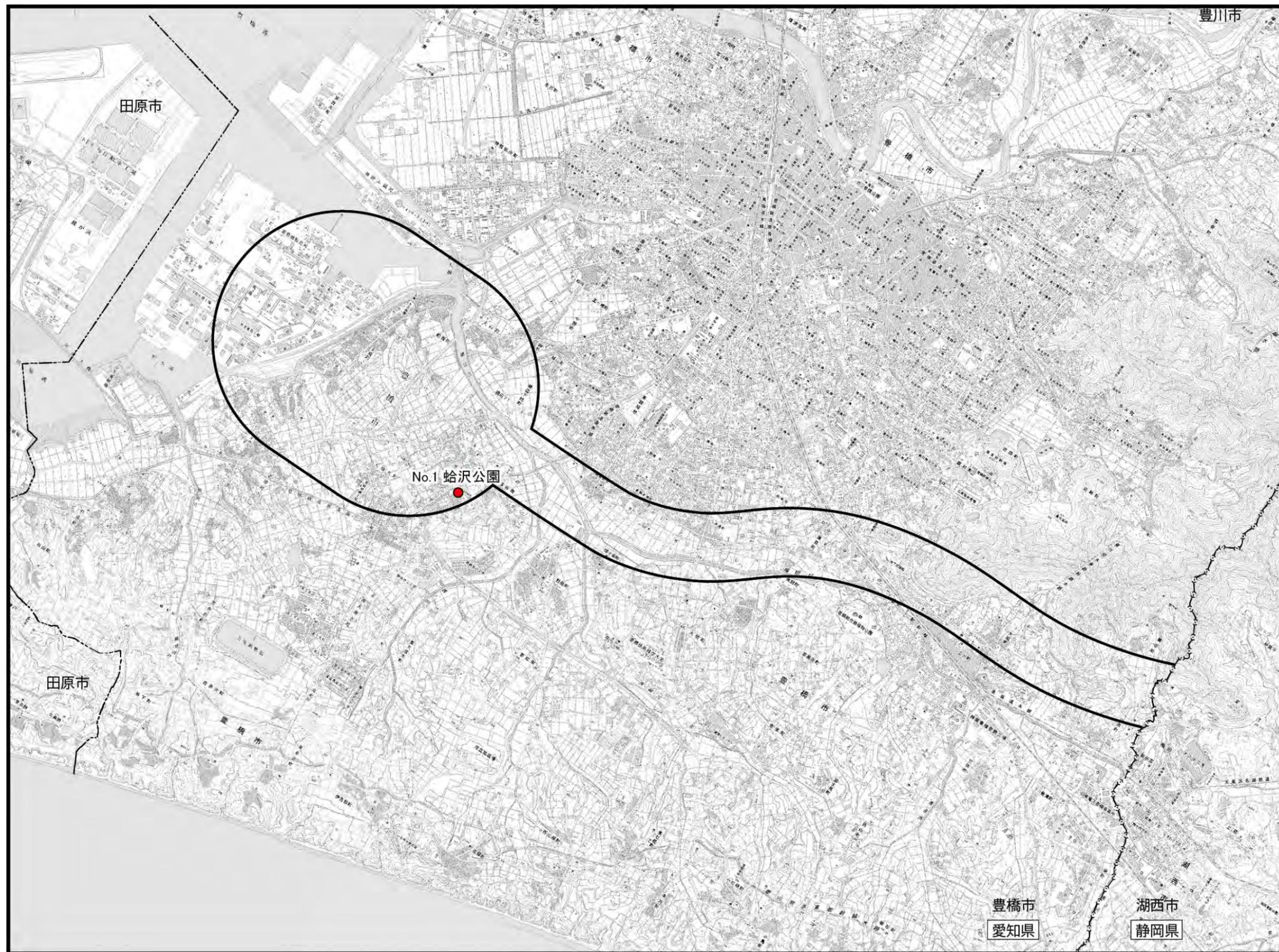


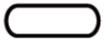
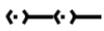
- 凡例
- : 都市計画対象道路事業実施区域
  - : 県境
  - : 市町村界
  - : 1 粗粒残積性未熟土壌
  - : 2 砂丘未熟土壌
  - : 3 黒ボク土壌
  - : 4 多湿黒ボク土壌
  - : 5 乾性褐色森林土壌
  - : 6 乾性褐色森林土壌(赤褐系)
  - : 7 赤色土壌
  - : 8 黄色土壌
  - : 9 褐色低地土壌
  - : 10 細粒灰色低地土壌
  - : 11 灰色低地土壌
  - : 12 灰色台地土壌
  - : 13 細粒グライ土壌
  - : 14 グライ土壌
  - : 15 粗粒グライ土壌
  - : 16 黒泥土壌

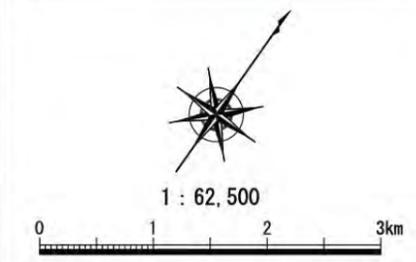
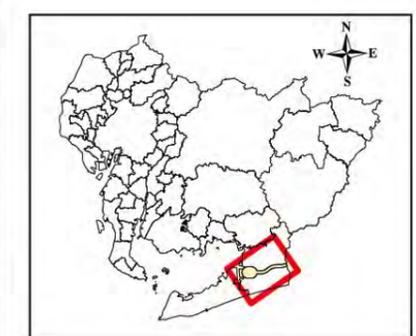


出典：「20万分の1土地分類基本調査(GISデータ) 土壌図」(国土交通省国土政策局ホームページ)

図 4-1-18 土壌の状況



- 凡 例
-  : 都市計画対象道路事業実施区域
  -  : 県境
  -  : 市町村界
  -  : ダイオキシン類調査地点



出典：「2022年度ダイオキシン類に係る環境調査結果について」（愛知県ホームページ）

図 4-1-19 土壤汚染調査地点位置図

## (2) 地盤の状況

### 1) 地盤の状況

豊橋市を含む東三河地域は、軟弱地盤である沖積層を擁するとともに相当量の地下水が利用されていることから、揚水や湧水の状況により地盤沈下が発生する可能性があると考えられています。このため、愛知県は、昭和 48 年から水準測量を開始し、監視を継続しています。

「全国地盤環境情報ディレクトリ（令和 3 年度版）」（環境省 HP）による豊橋平野（東三河）の地盤沈下情報によると、国土地理院が昭和 47 年に実施した水準測量において豊橋市の北部で 1cm 程度（5 年間累積）の沈下が見られましたが、以降の測量結果によると観測年度により沈下・隆起はあるものの、累積変動量から沈下現象は見られていません。

また、「2022 年（令和 4 年）地盤沈下調査結果」（愛知県ホームページ）によると、東三河地域では 1 年当たりに換算して 1cm 以上沈下した水準点はなく、経年的な地盤沈下の傾向は見られていません。地下水揚水量の減少に伴う地下水位の上昇により、地盤沈下はおおむね沈静化の傾向にあるとされています。

### 2) 地盤沈下の状況

調査区域における地盤沈下の調査地点は図 4-1-20 に、調査結果は表 4-1-47(1)～(2)に示すとおりです。

令和 4 年度に 36 地点で調査が行われており、年間変動量は $-0.61\sim 0.35\text{cm}$ 、累積は $-7.51\sim 8.59\text{cm}$ となっています。

表 4-1-47(1) 地盤沈下調査結果（令和 4 年度）

No.	所在地	令和 4 年 標高 (m)	令和 4 年 地盤変動量 (cm)	令和 4 年 累積地盤変動量 (cm)
1	豊橋市下地町字瀬上 70	3.1099	-0.02	4.47
2	豊橋市八町通 2-36	9.9734	0.1	5.3
3	豊橋市東松山町 39	6.7195	0.16	8.08
4	豊橋市大橋通 3-107	2.084	-0.61	-7.51
5	豊橋市東松山町 104	6.0393	0.13	5.88
6	豊橋市天伯町高田山 137-1	16.1945	-0.06	1.13
7	豊橋市富本町字東郷 71-2	12.7185	0.18	7.51
8	豊橋市富本町字国隠	19.9128	0.13	5.94
9	豊橋市浜道町船原 43	8.2081	0.03	4.19
10	豊橋市高師町字北原	18.3874	0.18	4.69
11	豊橋市牟呂中村町 1-4	1.6491	0.24	2.33
12	豊橋市高師町字北原 1	20.7281	0.05	-0.34
13	豊橋市小浜町 78	4.3359	0.16	7.18
14	豊橋市西高師町字船渡 51	10.313	-0.23	-3.51
15	豊橋市牟呂町字市場 26	3.4167	0.22	6.33
16	豊橋市神野新田町字イノ割 1-3	0.516	0.26	-0.69
17	豊橋市駒形町字南欠下 1	3.2329	0.15	1.07
18	豊橋市松井町字松井 129	11.4439	0.03	0.27

表 4-1-47(2) 地盤沈下調査結果（令和 4 年度）

No.	所在地	令和 4 年 標高 (m)	令和 4 年 地盤変動量 (cm)	令和 4 年 累積地盤変動量 (cm)
19	豊橋市野依八幡 2-1	20.0473	-0.01	-0.92
20	豊橋市大山町上青尻 73	1.6826	0.23	5.91
21	豊橋市植田町八尻 50	4.8606	0.07	3.27
22	豊橋市伊古部町字大縄手	56.8132	0.06	2.11
23	豊橋市船渡町字船渡 35-1	3.7204	0.15	0.33
24	豊橋市船渡町船渡 111	2.422	0.15	2.81
25	豊橋市伊古部町字下り 46	67.8	0	1.43
26	豊橋市大清水町字姫田 5-3	13.1434	-0.28	0.49
27	豊橋市大崎町西里中 20	16.9972	0.18	5.19
28	豊橋市大崎町西里中 20	17.4766	0.18	1.16
29	豊橋市大崎町南辻火当 36	6.9098	-0.01	4.29
30	豊橋市老津町宮脇 15-4	15.7294	-0.23	3.05
31	豊橋市下地町字長池 18	2.1783	0.14	4.88
32	豊橋市下地町字操穴	2.8166	-0.05	-0.42
33	豊橋市長瀬町字古川 108-1	3.9409	0.07	-1.52
34	豊橋市牟呂町字坂津 112	6.4435	—	—
35	豊橋市高洲町字高洲 117-1	1.2799	0.24	1.37
36	豊橋市高洲町烏塚 24	0.8179	0.35	8.59

注1) 表中の「—」は、測定が行われていないまたは公表されていないことを示す。

出典：マップあいち「愛知県水準測量調査結果」（愛知県ホームページ）

### 3) 地下水の分布

調査区域において、東三河湧水湿地群が確認されていますが、文献による湧き水の分布は確認されていません。東三河湧水湿地群については、第 4 章第 2 節 2.7(36)5) に後述しています。

#### 4) 地下水位の状況

調査区域における地下水位の調査結果は表 4-1-48 に示すとおりです。調査地点（井戸）の位置は非公表のため図示していません。

平成 24 年度から令和 2 年度にかけて 6 地点で調査が行われており、自然水位は 3.20 ～22.18m となっています。

調査区域には、「工業用水法」（昭和 31 年法律第 146 号、最終改正：令和 4 年 6 月 17 日法律第 68 号）に基づく指定地域及び「建築物用地下水の採取の規制に関する法律」（昭和 37 年法律第 100 号、最終改正：令和 4 年 6 月 17 日法律第 68 号）に基づく指定地域並びに県民の生活環境の保全に関する条例（平成 15 年愛知県条例第 7 号、最終改正：令和 4 年 3 月 25 日愛知県条例第 15 号）に基づく揚水規制区域に含まれる市町は存在しません。

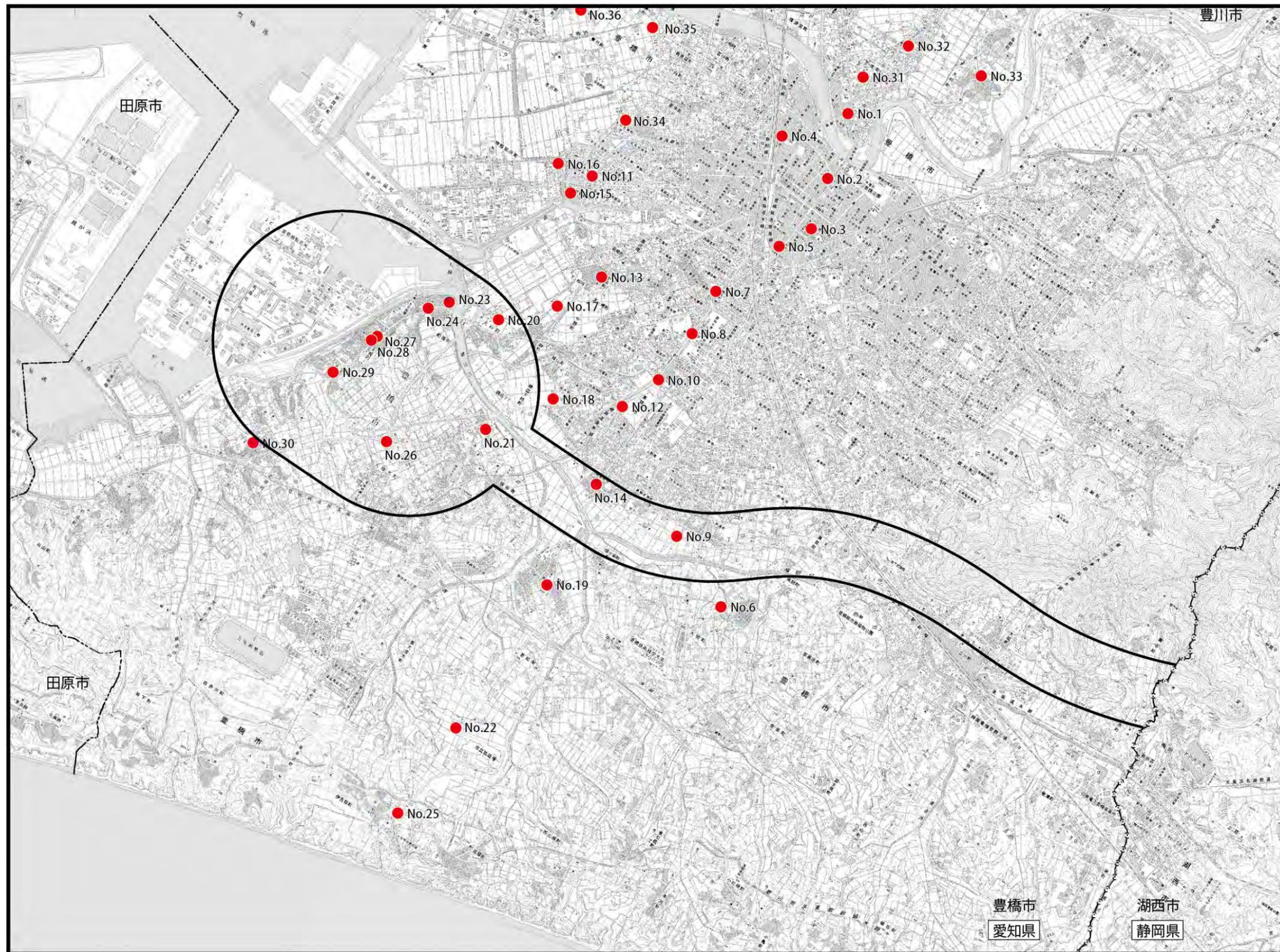
表 4-1-48 地下水位調査結果

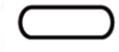
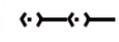
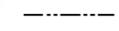
No.	所在地	使用目的	地盤標高(m)	自然水位(m)	調査年度
1	豊橋市曙町松並	その他	22.8	19.97	R2
2	豊橋市飯村南	その他	21.3	16.91	H30
3	豊橋市大岩町	都市用	17.8	17.10	H29
4	豊橋市北山町	都市用	21.1	22.18	H28
5	豊橋市植田町字八尻	工業用	—	3.20	H26
6	豊橋市北山町	都市用	21.0	20.40	H24

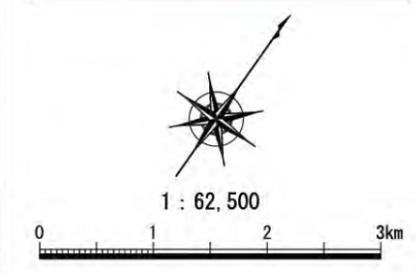
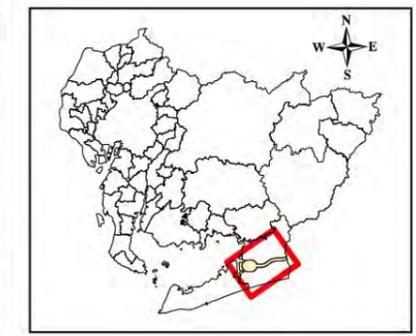
注1) 使用目的の「その他」は、生活用、都市用、工業用、農業用以外の使用目的を指す。

注2) 調査年度は「全国地下水資料台帳」に記載の調査年度とした。

出典：「全国地下水資料台帳」（国土交通省国土政策局国土情報課ホームページ）  
（昭和27年度から継続的に情報の累積）



- 凡 例
-  : 都市計画対象道路  
事業実施区域
  -  : 県境
  -  : 市町村界
  -  : 地盤沈下調査地点



出典：マップあいち「愛知県水準測量調査結果」（愛知県ホームページ）

図 4-1-20 地盤沈下調査地点位置図